



6月20日(金) A会場(神戸国際会議場 1F メインホール)

9:00~10:30

受賞報告会

◎の受賞者は受賞講演があります。

精神医学奨励賞

司会：獨協医科大学精神神経医学講座
社会医療法人あさかホスピタル

古郡 規雄
佐久間 啓

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所行動医学研究部

◎成田 瑞

精神医療奨励賞

司会：社会医療法人あさかホスピタル
獨協医科大学精神神経医学講座

佐久間 啓
古郡 規雄

十和田市立中央病院 ◎じゅんちゃん一座(代表会員 竹内 淳子)

国際学会発表賞

司会：東京科学大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学

高橋 英彦

個人発表部門

東京大学医学部附属病院精神神経科／国立精神・神経医療研究センター
防衛医科大学校防衛医学研究センター行動科学研究部門
奈良県立医科大学精神医学講座
北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室
京都大学大学院医学研究科脳病態生理学教室(精神医学)

高松 直岐
斉藤 拓
池原 実伸
篠原 陸斗
安藝 森央

シンポジウム組織発表部門

聖路加国際大学大学院看護学研究科精神看護学

青木 裕見

国際学会派遣賞

司会：東京科学大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学

高橋 英彦

American Psychiatric Association 大会派遣

東京都立松沢病院、東京大学社会医学系研究科

稲生 宏泰

Royal Australian and New Zealand College of Psychiatrists 大会派遣

国際電気通信基礎技術研究所(ATR)脳情報研究所 行動変容研究室

千葉 俊周

フォリア賞

司会：順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学／医学部精神医学講座
東京科学大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学

加藤 忠史
高橋 英彦

慶應義塾大学医学部医科学研究連携推進センター／健康・医療・社会イノベーションセンター

◎岸本 泰士郎

PCN Reviewer Awards

司会：順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学／医学部精神医学講座

加藤 忠史

岐阜大学大学院医学系研究科精神医学

大井 一高

Department of Psychiatry, Tri-Service General Hospital, School of Medicine,
National Defense Medical Center, Taipei, Taiwan
あおきクリニック精神神経科
愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座
東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野
藤田医科大学医学部精神神経科学講座
東京大学医学部附属病院精神神経科
愛媛大学大学院医学系研究科児童精神医学講座
Stanford University Department of Psychiatry and Behavioral Sciences
東京大学医学系研究科精神保健学分野
群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学教室
東邦大学医学部精神神経医学講座・社会実装精神医学講座
福岡大学医学部精神医学教室
関西医科大学医学部精神神経科学講座
奈良県立医科大学精神医学講座
名古屋大学総合保健体育科学センター
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所行動医学研究部
大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所行動医学研究部
北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室
奈良県立医科大学精神医学講座

Nian-Sheng Tzeng
青木 悠太
伊賀 淳一
佐々木 那津
岸 太郎
越山 太輔
河邊 憲太郎
和田 真孝
浅岡 紘季
武井 雄一
根本 隆洋
菅原 裕子
嶽北 佳輝
水井 亮
小川 しおり
成田 瑞
高橋 隼
堀 弘明
加藤 隆弘
岡田 俊

PCN Reports 最優秀論文賞

司会：関西医科大学医学部

福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

木下 利彦

◎板垣 俊太郎

PCN Reports Best Reviewer Awards

司会：獨協医科大学精神神経医学講座

名古屋市立大学こころの発達医学寄附講座

古郡 規雄

野木村 茜

PCN Reports Reviewer Awards

司会：獨協医科大学精神神経医学講座

愛媛大学大学院医学系研究科児童精神医学講座
奈良県立医科大学健康管理センター
山形大学医学部精神医学講座
名古屋市立大学大学院医学研究科こころの発達医学寄附講座／
名古屋市立大学病院こころの発達診療研究センター
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部
札幌花園病院
愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座
福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座
京都大学大学院医学研究科健康増進・行動学分野
防衛医科大学校精神科学講座
大橋クリニック
大阪医科薬科大学神経精神医学教室

古郡 規雄

河邊 憲太郎
山室 和彦
小林 良太

坂田 昌嗣
山口 創生
井上 猛
伊賀 淳一
岩佐 一
田近 亜蘭
戸田 裕之
今井 必生
西田 圭一郎



10:45～11:45 会長講演

司会：水野 雅文 社会医療法人あさかホスピタル

PL

第121回学術総会のテーマ「精神神経科学の充実・発展のために取り組むべきこと」を掘り下げる

○上野 修一

愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座



11:45～12:45 特別講演 2

司会：渡辺 雅子 医療法人社団千紫会新宿神経クリニック

SL2

科学技術と共に実現するインクルーシブな未来社会に向けて

○浅川 智恵子^{1,2}

¹IBM Research、²日本科学未来館



13:30～15:30 会長企画シンポジウム 3
精神神経領域の最先端の診療について考える

司会：上野 修一 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座
伊賀 淳一 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座

PS3-1

我が国の創薬力向上に向けての課題と今後の取り組み～薬事的観点から～

○藤原 康弘

独立行政法人医薬品医療機器総合機構



PS3-2

パーキンソン病に対する新規治療薬開発と他変性疾患への展開

○望月 秀樹

大阪大学大学院医学系研究科神経内科学



PS3-3

脳神経外科の立場から見る最先端の診療 – てんかん領域について –

○國枝 武治、中村 和

愛媛大学脳神経外科



15:45～16:45 先達に聴く 2

司会：上野 修一 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座

PM2

統合失調症—私の総決算と課題

○堀口 淳

島根大学医学部精神医学講座



16:45～17:45 特別講演 3

英→日同時通訳あり

司会：上野 修一 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座

SL3

MicroRNAs in Depression and Suicide: Evidence from Human Brain, Animal Models, and Exosome Studies

○Yogesh Dwivedi

University of Alabama at Birmingham, USA



6月20日(金) B会場(神戸国際会議場 3F 国際会議室)

8:30～10:30 会長企画シンポジウム 4

精神科の基礎研究の魅力、再発見！ ～臨床や患者様に繋がる熱い基礎研究とは～

司会：高木 学 岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学
岩田 正明 鳥取大学医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野

PS4-1

統合失調症の高リスク遺伝子病態及びシナプス自己免疫病態の解明

○塩飽 裕紀

東京科学大学精神行動医科学分野



PS4-2

基礎研究がゼロイチで産み出す新規治療法～ケトン体によるうつ病治療、PTSD治療

○山梨 豪彦

鳥取大学医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野

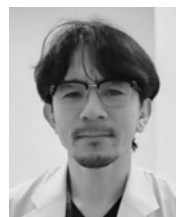


PS4-3

神経発達症の脳内外病変

○牧之段 学

藤田医科大学医学部精神神経科学講座





PS4-4

ここまでわかった！摂食症の基礎研究と薬物療法アップデート

○酒本 真次

岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学



〈メインコーディネーター〉 高木 学

岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学

〈サブコーディネーター〉 岩田 正明

鳥取大学医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野

10:45~12:45

シンポジウム 57

認知機能/高次脳機能障害から紐解く種々の精神・神経疾患

司会：曾根 大地 東京慈恵会医科大学

品川 俊一郎 東京慈恵会医科大学

SY57-1

認知症における認知機能障害

○品川 俊一郎

東京慈恵医科大学附属病院

SY57-2

てんかんにおける認知機能障害

○曾根 大地

東京慈恵会医科大学

SY57-3

自閉スペクトラム症における認知機能障害と神経生理機能との関連性

○三村 悠

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

SY57-4

従来の臨床・研究の枠を超えた手法による精神疾患認知機能障害の理解

○小池 進介

東京大学大学院総合文化研究科

〈メインコーディネーター〉 曾根 大地 東京慈恵会医科大学

〈サブコーディネーター〉 品川 俊一郎 東京慈恵会医科大学

小池 進介 東京大学

13:30~15:30

シンポジウム 58 (国際委員会)

英→日同時通訳あり

各国における老年精神医学の進歩

司会：高橋 英彦 東京科学大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学

秋山 剛 NTT 東日本関東病院

SY58-1

A new era of evidence-based geriatric psychiatry in the super-aged society in Japan

○Manabu Ikeda^{1,2}

¹Board Member, Japanese Society of Psychiatry and Neurology,

²Department of Psychiatry, Osaka University Graduate School of Medicine

SY58-2

Advances in Geriatric Psychiatry in USA: Focus on Collaborative Care

○Theresa Miskimen Rivera^{1,2}

¹President-Elect, American Psychiatric Association (President: May 2025-),

²Rutgers Robert Wood Johnson Medical School

SY58-4 Mild Behavioral Impairment among Community-dwelling Population in Taiwan

○Cheng-sheng Chen^{1,2}、Yi-chun Yeh^{1,2}、Mei-feng Huang^{1,2}

¹Taiwanese Society of Psychiatry、

²Department of Psychiatry, Kaohsiung Medical University Hospital, Kaohsiung, Taiwan

SY58-5 Psychiatry and health policy: recent interactions

○Su Jeong Seong^{1,2}

¹Hallym university, Kangdong Sacred Heart Hospital, Korea、²Korean Neuropsychiatric Association

〈メインコーディネーター〉 秋山 剛

NTT 東日本関東病院

〈サブコーディネーター〉 高橋 英彦

東京科学大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学

15:45～17:45 シンポジウム 59

精神科医を悩ませるゲーム行動症を理解する～新たな精神疾患への様々なアプローチ～

司会：館農 勝

特定医療法人さっぽろ悠心の郷ときわ病院

樋口 進

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

SY59-1 ゲーム行動症の疫学について

○松崎 尊信、古賀 佳樹、三原 聡子、北湯口 孝、樋口 進

国立病院機構久里浜医療センター

SY59-2 小中学生のゲーム行動の課題：D-SCREENの取り組み

○井上 建

獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター

SY59-3 オンラインゲームと子どもたちの居場所

○関 正樹

医療法人仁誠会大湫病院

SY59-4 スマートフォンが子どもの脳と学習に与える影響

○榎 浩平

東北大学応用認知神経科学センター

SY59-5 デジタル機器を用いたゲーム行動症の予防介入と回復支援

○治徳 大介

東京科学大学

〔指定発言者〕

樋口 進

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

〈メインコーディネーター〉 館農 勝

特定医療法人さっぽろ悠心の郷ときわ病院

〈サブコーディネーター〉 松崎 尊信

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

治徳 大介

東京科学大学



6月20日(金) C会場(神戸国際会議場 3F レセプションホール)

8:30~10:30 シンポジウム 60 認知症～新旧の革新的病態パラダイム～

司会：橋岡 禎征 旭川医科大学精神医学講座
新井 哲明 筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学

- SY60-1 全身炎症によるミクログリア活性化のアルツハイマー病に寄与するメカニズム**
○武 洲^{1,2}
¹九州大学大学院歯学研究院口腔機能分子科学、²九州大学大学院歯学研究院 OBT 研究センター
- SY60-2 神経炎症における活性化アストロサイトの神経毒性**
○橋岡 禎征
旭川医科大学精神医学講座
- SY60-3 タウの伝播とその動物モデル**
○細川 雅人^{1,2}、鈴掛 雅美²、長谷川 成人²
¹福岡大学薬学部、²東京都医学総合研究所認知症プロジェクト
- SY60-4 α シヌクレインの伝播とその制御：伝播モデル動物を用いた解析から**
○鈴掛 雅美
東京都医学総合研究所認知症プロジェクト
- 〔指定発言者〕**
新井 哲明
筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学
- 〈メインコーディネーター〉 橋岡 禎征 旭川医科大学精神医学講座
〈サブコーディネーター〉 新井 哲明 筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学

10:45~12:45 シンポジウム 61 子ども・若者の虐待・うつ・自殺を巡るケアの未来

司会：菱本 明豊 神戸大学大学院医学研究科精神医学分野
辻井 農重 富山大学附属病院

- SY61-1 児童青年の虐待、うつ、そして自殺の現状**
○辻井 農重
富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座
- SY61-2 若者の虐待・うつ・自殺に関するゲノムバイオロジー**
○大塚 郁夫
神戸大学大学院医学研究科精神医学分野
- SY61-3 AMPA 受容体密度変化を指標とした逆境体験の生物学的基盤の可視化**
○宮崎 智之¹、佐々木 亮²、首藤 正成²、永露 毅²、浅見 剛²
¹横浜市立大学研究・産学連携推進センター、²横浜市立大学医学部精神医学
- SY61-4 ウェアラブル・AI技術に基づくポジティブなケア技術の確立に向けて**
○寺田 努
神戸大学

SY61-5 先端科学技術をめぐるガバナンスの未来

○標葉 隆馬
慶應義塾大学

〈メインコーディネーター〉 菱本 明豊 神戸大学大学院医学研究科精神医学分野

13:30～15:30 シンポジウム 62
精神医療における身体診療の向上のためのAI・IT・アプリ技術の現状について

司会：清水 勇雄 医療法人杏和会阪南病院
俊野 尚彦 しまなみ産業保健事務所

SY62-1 精神科専門医研修での身体診療におけるデジタルデバイス活用の実践～医療の質向上と効率化を目指して～

○下原 悠一
大阪精神医療センター

SY62-2 オンラインコミュニティ「Club Psychiatry」における身体領域疾患理解への取り組み

○別府 拓紀
医療法人清陵会南ヶ丘病院

SY62-3 多疾患併存時代における総合診療とデジタルデバイス

○中込 雅人
藤田医科大学総合診療プログラム

SY62-4 精神科医がベンチャー企業をつくった経験からの共有すべきこと

○物部 真一郎
超楽長寿株式会社

SY62-5 精神科医が不安なく内科診療を実践するための方法論を考える

○石田 琢人
東京都立病院機構都立松沢病院

SY62-6 精神科医の身体診療についての研鑽・臨床におけるAI・IT・アプリ技術の実践

○清水 勇雄
医療法人杏和会阪南病院

〔指定発言者〕

松坂 雄亮
長崎県精神医療センター

〔指定発言者〕

溝江 篤
藤田医科大学総合診療プログラム

〔指定発言者〕

大塚 篤司
近畿大学医学部皮膚科学教室

〈メインコーディネーター〉 清水 勇雄 医療法人杏和会阪南病院
〈サブコーディネーター〉 俊野 尚彦 しまなみ産業保健事務所



15:45～17:45

シンポジウム 63

バイオ・サイコ・ソーシャルモデルにおけるダイアログの応用～精神科治療の充実・発展のために～

司会：斎藤 環

筑波大学医学医療系社会精神保健学/つくばダイアログハウス

植村 太郎

神戸労災病院

SY63-1

日本の一民間精神科病院における対話実践の試み

○山中 一紗

医療法人明和会琵琶湖病院

SY63-2

治療抵抗性統合失調症に対する簡易版ダイアログ「対話実践」の可能性

○石川 真紀

千葉県こころセンター(千葉県精神保健福祉センター)

SY63-3

アディクションへのオープン・ダイアログの応用

○森田 展彰

筑波大学

SY63-4

精神医療における対話実践：看護学実習を通じたオープンダイアログ（OD）の新たな可能性

○石橋 佐枝子

札幌市立大学看護学部

SY63-5

A市とB市における医療機関連携型オープンダイアログ実践報告—投薬管理システムの構築に向けて—

○岩渕 貴子、岩渕 一之

ライクマインズ

〔指定発言者〕

大井 雄一

筑波大学医学医療系／澁谷川診療所

〔指定発言者〕

大谷 保和

筑波大学医学医療系

〔指定発言者〕

笹原 信一郎

筑波大学医学医療系

〔指定発言者〕

岩渕 一之

ライクマインズ

〈メインコーディネーター〉 笹原 信一郎 筑波大学医学医療系

〈サブコーディネーター〉 大谷 保和 筑波大学医学医療系

6月20日(金) D会場(神戸国際会議場 4F 401会議室)

8:30~10:30 シンポジウム 64 (医療倫理委員会) 生死に関わる意思決定の臨床倫理

司会：水野 雅文 社会医療法人あさかホスピタル
藤井 千代 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

SY64-1 摂食障害診療における強制医療と医療倫理の問題、実臨床での対応

○山田 恒
兵庫医科大学

SY64-2 終末期医療におけるサイコオンコロジーの経験-自戒を込めて

○明智 龍男
名古屋市立大学大学院医学研究科

SY64-3 防衛医科大学校病院における臨床倫理コンサルテーションチームと精神科の関わり

○松井 茉莉江、戸田 裕之
防衛医科大学校病院

SY64-4 精神疾患を有する者の非救急場面における生死に関わる意思決定の応用倫理

○稲生 宏泰
地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院

〈メインコーディネーター〉 藤井 千代 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
〈サブコーディネーター〉 石川 博康 医療法人弘仁会島田病院
稲生 宏泰 地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院

10:45~12:45 シンポジウム 65 患者の健康的な側面や強み,可能性を引き出す新たな精神科医療— 心的外傷後成長 (PTG) の促進を目指して

司会：金井 玉奈 富士リハビリ病院
小口 芳世 聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

SY65-1 PTGの視点〜がん患者のケアを担当するうえで欠かせないこと〜

○清水 研
がん研有明病院

SY65-2 当事者中心の実践に学ぶ多職種支援の在り方

○山口 創生
国立精神・神経医療研究センター

SY65-3 ギフテッド特性に着目する精神科医療の意義

○池澤 聡
国立精神・神経医療研究センター

SY65-4 ピアサポーターとの共同創造事業の展開

○田中 悟郎
令和健康科学大学リハビリテーション学部作業療法学科



SY65-5

気分障害患者の心的外傷後成長（Posttraumatic Growth ; PTG）の促進を目指して

○金井 玉奈、金岡 啓樹、西村 行徳、引場 智、高橋 伸忠
富士リハビリ病院

〔指定発言者〕

平島 奈津子
オフィス朔

〈メインコーディネーター〉 金井 玉奈 富士リハビリ病院
〈サブコーディネーター〉 小口 芳世 聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

13:30～15:30

シンポジウム 66

総合病院における精神科救急の実践

司会：佐藤 茂樹 成田赤十字病院
赤羽 隆樹 公立置賜総合病院

SY66-1

地方の有床総合病院精神科における救急急性期医療と将来展望

○赤羽 隆樹
公立置賜総合病院

SY66-2

高知医療センターにおける精神科救急

○澤田 健、中村 朔也、山本 大介、北代 晶帆、船越 祥子、土田 亜希、永野 志歩
高知県・高知市病院企業団立高知医療センター

SY66-3

あらゆる状況に対応する富山県立中央病院精神科病棟

○野原 茂
富山県立中央病院

SY66-4

国府台病院における精神科救急

○佐竹 直子
国立国際医療研究センター国府台病院

〈メインコーディネーター〉 佐藤 茂樹 成田赤十字病院
〈サブコーディネーター〉 赤羽 隆樹 公立置賜総合病院

15:45～17:45

シンポジウム 67

精神科医が雑用を効率よく終えるハック術

司会：金沢 徹文 大阪医科薬科大学
戸田 裕之 防衛医科大学校精神科学講座

SY67-1

研究における生成AIを用いたハック術

○吉田 和生
慶應義塾大学病院臨床研究推進センター・監理センター

SY67-2

臨床などに関連したハック術あれこれ

○嶽北 佳輝
関西医科大学医学部精神神経科学講座

SY67-3

雑用とハック

○宋 龍平
岡山県精神科医療センター

SY67-4 開業医における業務運営ハック術

○今津 伸一

医療法人今津診療所

〈メインコーディネーター〉 金沢 徹文

大阪医科薬科大学

〈サブコーディネーター〉 戸田 裕之

防衛医科大学校精神科学講座

6月20日(金) E会場(神戸国際会議場 4F 402会議室)

8:30~10:30 シンポジウム 68

まずは住まいを探そう～長期入院患者の地域移行への支援～

司会：内田 直樹 医療法人すずらん会たろうクリニック
洗 成子 公益財団法人愛世会愛誠病院

SY68-1 なぜ入院40年目で退院ができたのか

○伊藤 時男

精神医療国家賠償請求訴訟研究会

SY68-2 精神障害者にとっての居住福祉

○洗 成子

公益財団法人愛世会愛誠病院

SY68-3 住まいを探そうー長期入院の方たちに取り組んできたこと

○田中 究

兵庫県立ひょうごこころの医療センター

SY68-4 訪問診療からみる慢性療養者の医療

○内田 直樹、中川 伸明、家村 智和、勢島 奏子、塚田 真悟、村谷 哲平、山田 健治

医療法人すずらん会たろうクリニック

〔指定発言者〕

太田 順一郎

岡山市こころの健康センター

〈メインコーディネーター〉 田中 究

兵庫県立ひょうごこころの医療センター

〈サブコーディネーター〉 洗 成子

公益財団法人愛世会愛誠病院

太田 順一郎 岡山市こころの健康センター

10:45~12:45 シンポジウム 69

ライフステージを通した強度行動障害の地域支援体制の発展を目指して

司会：會田 千重 独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター
岡田 俊 奈良県立医科大学精神医学講座

SY69-1 強度行動障害の医療～地域の精神科医療機関での現状

○安藤 直也

千曲荘病院



SY69-2

県自立支援協議会強度行動障害支援部会等を通じた福祉・教育・行政との協働、そして精神科救急医療での役割

○来住 由樹

地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

SY69-3

成人期を見据えた児童期からの治療

○吉川 徹

愛知県尾張福祉相談センター

SY69-4

強度行動障害児者に対する医療機関における取り組み—クライシスプランとクリニカルパスの応用—

○山下 健¹、下村 拓也²

¹独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター、²独立行政法人国立病院機構琉球病院

〔指定発言者〕

西尾 大輔

厚生労働省

〔指定発言者〕

今出 大輔

こども家庭庁

〔指定発言者〕

市川 宏伸

一般社団法人日本発達障害ネットワーク

〈メインコーディネーター〉 會田 千重

独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター

〈サブコーディネーター〉 岡田 俊

奈良県立医科大学精神医学講座

13:30～15:30 シンポジウム 70

性的逸脱行動に対する条件反射制御法

司会：長谷川 直実 医療法人社団ほっとステーション

SY70-1

性的逸脱行動に対する条件反射制御法の理論

○平井 愼二

独立行政法人国立病院機構下総精神医療センター

SY70-2

盗撮の傾向とCRCT

○長谷川 直実、山本 泰雄、松野 翔平、田原 和代、畑中 弘

医療法人社団ほっとステーション

SY70-3

性的逸脱行動に対する条件反射制御法の効果検証について

○山本 泰雄¹、長谷川 直実¹、花田 大地¹、松野 翔平¹、堀田 茂¹、野村 英樹²、飛田 恭子³、平井 愼二³

¹医療法人社団ほっとステーション大通公園メンタルクリニック、²金沢大学付属病院総合診療部、

³独立行政法人国立病院機構下総精神医療センター

SY70-4

痴漢に対する条件反射制御法の実際

○中元 総一郎

一般財団法人成研会結のぞみ病院

〈メインコーディネーター〉 長谷川 直実 医療法人社団ほっとステーション

15:45～17:45 シンポジウム 71
性被害・性的虐待について考える

司会：森 美緒 本山こころのクリニック
宮内 和瑞子 宮内クリニック

SY71-1 子どもの性暴力被害の治療・支援の現状と課題～子どものアドボケイトとしての児童精神科医の立場より

○古橋 功一
藤田医科大学医学部精神神経科学講座

SY71-2 「女性弁護士過疎地域」における性犯罪被害者支援のあり方

○永本 能子
オハナ法律事務所

SY71-3 地域における女性精神科医の役割

○安川 節子
熊本ファミリーメンタルクリニック

SY71-4 「地域の一般精神科診療所での性被害を受けた方との関わり」

○鈴木 実穂
すがのクリニック

〈メインコーディネーター〉 宮内 和瑞子 宮内クリニック
〈サブコーディネーター〉 森 美緒 本山こころのクリニック

6月20日(金) F会場(神戸国際会議場 4F 403会議室)

8:30～10:30 シンポジウム 72 (司法精神医学研修委員会)
医療観察法による医療の有用性と限界 — 4つの事例から

司会：澤田 健 高知県・高知市病院企業団高知医療センターこころのサポートセンター
田口 寿子 東京武蔵野病院

SY72-1 医療観察法適用下での複合的アプローチにより状態安定に至った統合失調症事例

○高信 径介
北海道大学病院附属司法精神医療センター

SY72-2 医療観察法処遇終了となった敏感関係妄想の老年女性

○崎川 典子
一般財団法人精神医学研究所附属東京武蔵野病院

SY72-3 医療観察法において家族支援の重要性和限界が浮き彫りになった事例

○柏木 宏子
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

SY72-4 医療観察法入院処遇中に頻回な行動制限を要した対象者から学んだこと

○高尾 碧
島根県立こころの医療センター

〔指定発言者〕

田口 寿子
東京武蔵野病院



〈メインコーディネーター〉 田口 寿子 東京武蔵野病院

10:45～12:45 **シンポジウム 73 (ガイドライン検討委員会)**
当事者や他科との協働による診療ガイド作成

司会：尾崎 紀夫 名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学
中川 伸 山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座

SY73-1 当事者との協働によってガイドを作成した経験について

○鈴木 映二
東北医科薬科大学

SY73-2 「こころの不調や病氣と妊娠・出産のガイド：一般の方向け」作成委員会に参加して～私が学んだこと

○夏莉 郁子
やきつべの径診療所

SY73-3 当事者からのご発言

○ねこやなぎ
神奈川県ピアサポーター

SY73-4 当事者・家族と共にガイドを作成する～作成委員として感じたこと～

○菊地 紗耶
東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

SY73-5 Mindsガイドラインに基づく診療ガイドラインにおける患者・市民参画

○吉村 公雄
慶應義塾大学医学部

〈メインコーディネーター〉 吉村 公雄 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室
〈サブコーディネーター〉 菊地 紗耶 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

13:30～15:30 **シンポジウム 74**
精神科離島・へき地医療発展のためのデジタル医学の導入

司会：熊崎 博一 長崎大学医学部精神神経科学教室
中村 雅之 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野

SY74-1 隠岐諸島におけるKOKOROBO-Jの効果検証

○岩田 正明
鳥取大学医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野

SY74-2 徳之島・沖永良部島・与論島でのオンライン診療実践

○真田 建史、片岡 悠哉、吉田 智弘
昭和医科大学医学部精神医学教室

SY74-3 長崎県におけるヒューマノイドロボットを用いた遠隔診療の実践

○熊崎 博一
長崎大学医学部精神神経科学教室

SY74-4 沖縄県の離島・へき地医療におけるオンライン診療の実装化

○高江洲 義和
琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座

SY74-5 鹿児島県の離島地域における認知症診療の現状と展望

○中村 雅之

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野

〔指定発言者〕

岸本 泰士郎

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

〔指定発言者〕

神庭 重信

飯田病院／日本うつ病センター／九州大学／日本うつ病センター

〈メインコーディネーター〉 熊崎 博一

長崎大学医学部精神神経科学教室

〈サブコーディネーター〉 中村 雅之

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野

岩田 正明

鳥取大学医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野

15:45～17:45 シンポジウム 75

神経発達症とトラウマ関連症状から考える、成人期の精神科診療

司会：青木 省三 公益財団法人慈圭会精神医学研究所
武井 明 市立旭川病院

SY75-1 総合病院精神科診療における神経発達症とトラウマ関連症

○村上 伸治

川崎医科大学精神科学教室

SY75-2 統合失調症と神経発達症、そしてトラウマ関連症状

○鷲田 健二

慈圭病院

SY75-3 発達とトラウマから考える老年期・高齢者の精神科臨床

○宮崎 健祐

弘前愛成会病院精神科

SY75-4 発達とトラウマの問題をどう見立て治療・支援していくか～アディクション臨床の視点から～

○小林 桜児

神奈川県立精神医療センター

〔指定発言者〕

吉村 優作

味野医院

〈メインコーディネーター〉 青木 省三

公益財団法人慈圭会精神医学研究所

〈サブコーディネーター〉 武井 明

市立旭川病院



6月20日(金) G会場(神戸国際会議場 5F 501会議室)

8:10~9:50

ワークショップ6 (広報委員会)

精神科医によるソーシャルメディア配信のトリセツ誤解を解き、正しい知識を届けるためにー

司会：金沢 徹文 大阪医科薬科大学
益田 裕介 早稲田メンタルクリニック

WS6

〈講演者〉

益田 裕介 早稲田メンタルクリニック
松本 俊彦 国立精神・神経医療研究センター
松崎 朝樹 筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学
本田 秀夫 信州大学医学部子どものこころの発達医学教室

〈メインコーディネーター〉 金沢 徹文 大阪医科薬科大学
〈サブコーディネーター〉 益田 裕介 早稲田メンタルクリニック

10:45~12:25

ワークショップ7 (性別不合に関する委員会)

「性別不合に関する診断と治療のガイドライン」に準拠した診療 ～第5版の公開を経て～

司会：織田 裕行 医療法人桐葉会きじまこころクリニック・木島病院
上野 千穂 京都市児童福祉センター診療所

WS7

〈講演者〉

康 純 関西大学保健管理センター
松岩 七虹 医療法人桐葉会きじまこころクリニック
中塚 幹也 岡山大学大学院保健学研究科
丹羽 幸司 医療法人ガクト会ナグモクリニック大阪

〈メインコーディネーター〉 織田 裕行 医療法人桐葉会きじまこころクリニック・木島病院

13:30~15:10

ワークショップ8 (精神科医療機器委員会)

高出力機器導入により見直されるECTの基本

司会：諏訪 太郎 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座 (精神医学)
野田 隆政 国立精神・神経医療研究センター病院

WS8

〈講演者〉

青木 宣篤 関西医科大学精神神経科学講座
飯田 仁志 福岡大学医学部精神医学教室
奥村 正紀 地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立豊島病院
川島 啓嗣 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座 (精神医学)
嶽北 佳輝 関西医科大学医学部精神神経科学講座
林 大祐 国立精神・神経医療研究センター病院
安田 和幸 山梨大学医学部精神神経医学・臨床倫理学講座
澤山 恵波 北里大学医学部精神科学

〈メインコーディネーター〉 野田 隆政 国立精神・神経医療研究センター病院
〈サブコーディネーター〉 諏訪 太郎 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座 (精神医学)

15:45～17:25 **ワークショップ 9 (卒前医学教育・卒後臨床研修委員会)**
医学生・研修医に対する精神医学教育のエッセンスの探求

司会：藤田 博一 高知大学医学部附属医学教育創造センター
植野 司 京都大学医学部附属病院総合臨床教育・研修センター

WS9 〈講演者〉 宮野 史也 北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室
尾関 祐二 滋賀医科大学精神医学講座
須田 史朗 自治医科大学精神医学講座
村井 俊哉 京都大学大学院医学研究科・精神医学
川崎 弘詔 脳科学・精神医学総合研究所

〈メインコーディネーター〉 松坂 雄亮 長崎県精神医療センター
〈サブコーディネーター〉 藤田 博一 高知大学医学部附属医学教育創造センター
植野 司 京都大学医学部附属病院総合臨床教育・研修センター

6月20日(金) H会場(神戸国際会議場 5F 502会議室)

8:30～10:30 **シンポジウム 76 (アンチスティグマ委員会)**
スティグマを低減し、希望を育てる：高校生の保健体育授業(精神疾患の予防と回復)資料ビデオ作成の経験

司会：倉持 泉 埼玉医科大学総合医療センター／国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
小口 芳世 聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

SY76-1 **高校生対象の精神疾患啓発動画作成の実際と、作成を通して得た気づき**

○大矢 希¹、入来 晃久²、田中 増郎³

¹京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学、²地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター、³公益財団法人慈恵会慈恵病院

SY76-2 **PPIに基づくアンチスティグマアクションの経験について**

○山田 悠平

一般社団法人精神障害当事者会ボルケ

SY76-3 **私の体験**

○三桶 裕嗣

きらりの集い

SY76-4 **高校生の保健体育授業資料ビデオ作製に不安症当事者として関わった経験から得られたもの**

○田邊 千栄里

NPO 法人生活の発見会

SY76-5 **当事者インタビューを通じて伝えたかった摂食障害のリアルと希望**

○高橋 美友香

アンチスティグマ委員会ビデオ撮影協力者

〔指定発言者〕

鈴木 道雄

医療法人高田西城会糸魚川診療所／医療法人社団四方会有沢橋病院

〔指定発言者〕

渡辺 雅子

新宿神経クリニック



〔指定発言者〕

和島 香太郎

アンチスティグマ委員会ビデオ撮影協力者

※セッション終了後、以下の会場にてビデオ上映を2回行います。

日時：6月20日（金）①10：45～12：45／②13：00～15：00

※上映内容は同じとなります。

会場：国際委員会会場（神戸ポートピアホテル 本館 B1F 布引）

〈メインコーディネーター〉 倉持 泉

埼玉医科大学総合医療センター／国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

〈サブコーディネーター〉 小口 芳世

聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

10:45～12:45 シンポジウム 77

精神科臨床に欠かせない睡眠医学の知識

司会：内田 直

すなおクリニック／早稲田大学／東京科学大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学／自治医科大学精神医学講座

本多 真

東京都医学総合研究所精神行動医学研究分野睡眠プロジェクト／公益財団法人神経研究所附属晴和病院

SY77-1

精神科臨床診療に必須な睡眠医学の知識

○内田 直^{1,2}

¹すなおクリニック、²早稲田大学

SY77-2

精神疾患と睡眠呼吸障害の意外な関係

○杉田 尚子

国立病院機構京都医療センター

SY77-3

睡眠てんかんとパラソムニア

○高木 俊輔

東京科学大学精神行動医科学分野

SY77-4

日中の過剰な眠気が訴えられたとき

○本多 真^{1,2}

¹公益財団法人東京都医学総合研究所、²公益財団法人神経研究所附属晴和病院

〔指定発言者〕

須田 史朗

自治医科大学精神医学講座

〔指定発言者〕

内村 直尚

久留米大学

〈メインコーディネーター〉 内田 直

すなおクリニック／早稲田大学／東京科学大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学／自治医科大学精神医学講座

〈サブコーディネーター〉 高橋 英彦

東京科学大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学／東京科学大学総合研究院脳統合機能研究センター

13:30～15:30 シンポジウム 78 (性別不合に関する委員会)
性別取り扱いの特例法に対する違憲判決を受けて「性別」について考える

司会：康 純 関西大学保健管理センター
松本 洋輔 岡山大学病院

SY78-1 「性別」とは何か ―ジェンダー論の立場から―

○三橋 順子
明治大学文学部

SY78-2 性分化疾患 (DSD) における「性別」

○石井 智弘
慶應義塾大学医学部小児科

SY78-3 我が国の法における性別の概念とその進化について、令和5年の違憲判決から考える

○東田 展明
みやこ法律事務所

SY78-4 性と人権：多様なジェンダーと性別をめぐる国内外の動向

○東 優子
大阪公立大学

〈メインコーディネーター〉 康 純 関西大学保健管理センター

15:45～17:45 シンポジウム 79
難しい「発達障害(神経発達症)」の患者をどのように見立てて支援するか:力動精神医学(精神分析)への誘い

司会：齊藤 万比古 恩賜財団母子愛育会愛育研究所
鈴木 智美 精神分析キャビネ/可也病院

SY79-1 精神療法は神経発達症支援の何に寄与できるか

○齊藤 万比古
恩賜財団母子愛育会愛育研究所

SY79-2 メンタライジングによる子どもと親への支援(時間制限式MBT-C)を用いた神経発達症の親子への治療の実例

○渡部 京太
群馬病院

SY79-3 成人発達障害症例へのDSM/ICDでの「分ける(わかる)」臨床と「分けない(わからない)」精神分析的臨床

○加藤 隆弘
北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

SY79-4 発達障害臨床におけるロボット導入の意義

○熊崎 博一
長崎大学医学部精神神経科学教室

〔指定発言者〕

加茂 聡子
四谷こころのクリニック

〈メインコーディネーター〉 加藤 隆弘 北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室



6月20日(金) I会場(神戸国際会議場 5F 504会議室)

8:30~9:30 一般演題(口演) 12 統合失調症

司会: 谷 英明 慶應大学医学部精神・神経科学教室

- 2-OS12-1 *** 中年期に重篤な生活機能低下をきたし22q11.2欠失症候群の診断に至った一例**
○橋本 真治¹、横塚 紗永子¹、小幡 興一²、神谷 素子^{3,4}、萩原 徹也⁵、篠山 大明⁵、本田 秀夫⁶、古庄 知己^{3,4}、鷲塚 伸介⁵
¹信州大学医学部附属病院精神科、²社会医療法人栗山会飯田病院精神科、³信州大学医学部遺伝医学教室、⁴信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センター、⁵信州大学医学部精神医学教室、⁶信州大学医学部子どものこころの発達医学教室
- 2-OS12-2 **10年間の治療経過において脳萎縮の回復を認めた22q11.2欠失症候群を伴う統合失調症の一例**
○吉牟田 直和、有村 尚也、田川 真一郎、新井 薫、池田 良太、町 理人、浦田 結嘉、中村 雅之
鹿児島大学病院
- 2-OS12-3 *** 慢性期統合失調症に特発性パーキンソン病を合併し、治療に難渋した一例**
○牧山 龍和、谷田 沙里奈、三浦 雅博、芦田 湧基、松村 美希、七澤 英毅、鶴重 順康、佐竹 直子
国立国際医療研究センター国府台病院
- 2-OS12-4 **当院で措置入院となった患者を居住地県へ措置入院のまま転院(越境転院)できた事例を経験して**
○大林 友起¹、中平 仁²、大森 隆史²
¹徳島県立中央病院事務局、²徳島県立中央病院精神科
- 2-OS12-5 *** 直腸癌を合併した統合失調症患者に対して多職種での関わりを継続しストーマ造設術施行に至った一例**
○八木 将和、石田 琢人、荒川 育子、和氣 仁美、田波 秀朗、島田 恵、水野 雅文
東京都立松沢病院

9:30~10:30 一般演題(口演) 13 統合失調症、その他

司会: 武田 俊彦 公益財団法人慈圭会慈圭病院

- 2-OS13-1 **精神病スペクトラムにおける淡蒼球亜領域の神経生理学的意義**
○岡田 直大¹、西田 淳志²、笠井 清登¹
¹東京大学、²東京都医学総合研究所
- 2-OS13-2 **統合失調症外来患者でのGAFとCP換算抗精神病薬用量および併用向精神薬数との相関**
○渡部 和成
社会医療法人崇徳会田宮病院
- 2-OS13-3 **統合失調症患者におけるアデニン、人参養栄湯、炭酸リチウム内服による白血球数の変化について**
○松岡 照之、山野 純弘
独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター

2-OS13-4 (悪性を含む) カタトニアに対してグアンファシンを用いることでECTを避け寛解まで治療し得た5症例の検討
○齋藤 洋紀^{1,2}、館野 周²
¹医療法人明柳会恩田第2病院、²日本医科大学精神医学教室

2-OS13-5 統合失調症におけるパリペリドンパルミチン酸エステル3か月LAI製剤の導入と治療中断させない診療戦略
○吹田 恭子¹、石津 宏^{1,2}、吉田 延²
¹医療法人愛命会泉原病院、²医療法人愛命会

10:45~11:45 一般演題 (口演) 14 気分障害・薬物、他

司会：加藤 正樹 関西医科大学医学部医学科精神神経科学講座

2-OS14-1 成人期の急性躁病エピソードに対する抗精神病薬と気分安定薬の治療経過の比較
○安田 英彰¹、可児 涼真²、羽賀 龍³、中島 振一郎⁴、竹内 啓善⁴
¹医療法人恵和会石東病院、²医療法人鉄蕉会亀田総合病院、³京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学、⁴慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

2-OS14-2 * 双極症の抑うつエピソードに対する薬物療法の経時的効果比較
○羽賀 龍¹、安田 英彰²、可児 涼真³、中島 振一郎⁴、竹内 啓善⁴
¹京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学、²特定医療法人恵和会石東病院、³医療法人鉄蕉会亀田総合病院、⁴慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

2-OS14-3 うつ病入院治療での抗うつ薬の減薬等について考える
○徳永 雄一郎¹、島松 まゆみ¹、高田 和秀¹、奥村 幸祐¹、杉本 浩利¹、後藤 玲央^{1,2}、松下 満彦¹、堀 輝²
¹不知火病院、²福岡大学医学部精神医学教室

2-OS14-4 大うつ病性障害でのエスゾピクロンとベンゾジアゼピン系睡眠薬使用のうつ病および不眠アウトカムの相違
○土生川 光成^{1,2}、小城 公宏³、植田 健嗣³、小浦 冬馬²、藤井 優樹²、横山 遼²、水木 慧²、瀧井 稔²、兵頭 佑規²、加藤 隆郎²、和佐野 研二郎²、森 裕之²、比江嶋 啓至²、小曾根 基裕²、内村 直尚²
¹久留米大学医療センター精神科、²久留米大学医学部神経精神医学講座、³医療法人清友会植田病院

2-OS14-5 COVID-19はリワーク後の就労継続にどのように影響したのか
○松下 満彦^{1,2}、後藤 玲央^{1,2}、徳永 雄一郎¹、杉本 浩利¹、佐藤 圭¹、堀 輝²
¹医療法人社団新光会不知火病院、²福岡大学医学部精神医学教室

11:45~12:35 一般演題 (口演) 15 認知症

司会：寺田 整司 岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学

2-OS15-1 アルツハイマー型認知症における末梢血好中球・リンパ球数と領域脳血流量の関連性の検討
○宮崎 秀仁^{1,2}、井出 恵子^{1,3}、山口 博行^{1,4}、青木 直哉^{1,2}、勝瀬 大海^{1,2}、小田原 俊成^{1,5}、浅見 剛^{1,3}
¹横浜市立大学大学院医学研究科精神医学教室、²横浜ほうゆう病院、³公立大学法人横浜市立大学附属病院精神科、⁴横浜市総合保健医療センター、⁵横浜市立大学保健管理センター



- 2-OS15-2 ドナネマブの臨床試験における infusion related reactions (TRAILBLAZER-ALZ 及び TRAILBLAZER-ALZ 2)
○横井 優磨¹、片桐 秀晃¹、佐藤 祥一郎¹、藤越 慎治¹、Paul Ardayfio²、Garrett Mullins²、Jennifer Zimmer²、Cynthia Evans²、Ivelina Gueorguieva²、Emel Serap Monkul Nery²、Hong Wang²、Rashna Khanna²、Dawn Brooks²、John Sims²
¹日本イーライリリー株式会社、²Eli Lilly and Company
- 2-OS15-3 早期アルツハイマー病に対する日本人集団を含めたドナネマブの臨床的意義
○片桐 秀晃¹、横井 優磨¹、佐藤 祥一郎¹、藤越 慎治¹、Alette Wessels²、Erin Doty²、Alexandra Atkins²、Julie Chandler²、Ming Lu²、WenYu Ye²、Ellen B. Dennehy²、Dawn Brooks²、John Sims²
¹日本イーライリリー株式会社、²Eli Lilly and Company
- 2-OS15-4 認知症にせん妄を併発した症例におけるミルタザピン使用と認知機能スコアとの関係
○石井 寛邦、國芳 浩平
医療法人社団筑水会筑水会病院

13:30～14:30 一般演題（口演）16
精神保健福祉

司会：長谷川 雄介 富山市立富山市民病院

- 2-OS16-1 発達障害児支援における多機能型事業所の運営と精神科専門医の役割＝2施設の開設・運営の経験から＝
○松本 良平^{1,2}
¹株式会社マイシエルパ、²京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学
- 2-OS16-2 精神保健福祉センターによるトラウマ・インフォームド・ケア研修の実施拡大に向けた戦略の開発
○佐々木 那津¹、白田 謙太郎²、金森 由晃³、土肥 早稀¹、西 大輔¹
¹東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野、
²国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所公共精神健康医療研究部、
³東京大学大学院医学系研究科精神看護学分野
- 2-OS16-3 ベルギーと日本における精神保健改革のプロセスと地域へのサービス提供のシフト
○本屋敷 美奈^{1,2}
¹東京医科大学精神医学分野、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
- 2-OS16-4 実は医療保護入院制度を廃止できない諸悪の根源とは？ じゃあどうする？ ー扶養義務
○荒田 智史
FLATSヒルサイドクリニック
- 2-OS16-5 初学者に対する「症例検討会のあり方」に関する考察
○久保 洋一郎
大阪医科薬科大学病院

14:30～15:30 一般演題（口演）17
社会精神医学または多文化精神医学

司会：高橋 晶 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学

2-OS17-1 てんかんと精神疾患への社会的距離：てんかんに対する人々の態度に関する研究

○倉持 泉^{1,2}、ケルコフ デニー⁴、中島 崇博¹、岩山 孝幸^{1,3}、小林 清香¹、マイヤー アクセル⁴、
吉益 晴夫¹

¹埼玉医科大学総合医療センター、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、
³昭和女子大学人間社会学部心理学科、⁴ビーレフェルト大学心理学・スポーツ科学部

2-OS17-2 スリランカにおける在留邦人のメンタルヘルス状況と課題：医療官の視点を通じた考察

○星野 悠介¹、中西 健太³、花岡 晋平^{2,4}

¹在スリランカ日本国大使館、²千葉県総合救急災害医療センター、³医療法人人生会松蔭病院、
⁴東邦大学医学部社会医学講座

2-OS17-3 世界保健機関メンタルヘルス枠組みを踏まえたフィリピン国地域精神保健推進への日本の協力支援

○関 英一^{1,2}、藤井 千代²、馬場 俊明³、佐藤 さやか²、久永 文恵²、金 吉晴²

¹社会医療法人あさかホスピタル、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、
³国立研究開発法人国立国際医療研究センター

2-OS17-4 シンガポールにおける持続性注射剤（LAI）高採用率の要因と日本への適用可能性～現地調査による報告～

○高橋 由美子¹、Yin Lam Steve Lee²、Chao Tiao Tang³、花岡 晋平^{1,4}

¹千葉県総合救急災害医療センター、²Institute of Mental Health, Singapore、
³Department of Psychiatry, Sengkang General Hospital, Singapore、⁴東邦大学医学部社会医学講座

2-OS17-5 HIV関連神経認知障害のために診療と社会環境調整に難渋した在留タイ人の一例

○石塚 晶啓、大村 圭、津田 眞珠子、福田 周一、須田 史朗
自治医科大学附属病院

15:45～16:45 一般演題（口演）18
地域精神医療

司会：兼行 浩史 山口県立こころの医療センター

2-OS18-1 令和6年能登半島地震後の七尾松原病院の医療状況について

○登坂 由香、村守 隆史、川田 和人、飛驒 賢一、松原 三郎
医療法人松原会七尾松原病院

2-OS18-2 多職種アウトリーチを实践する公立精神病院の特徴 登録理由のクラスタリング分析

○竹澤 翔¹、小池 純子²、中西 清晃²、西 宏隆³、遠田 大輔⁴、岡野 茉莉子³、島田 達洋⁵、椎名 明大⁶、
臼田 謙太郎²、黒田 直明²、藤井 千代²、稲垣 中⁷、瀬戸 秀文⁸

¹石川県立こころの病院、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、
³地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院、⁴富山県立大学、⁵栃木県精神保健福祉センター、
⁶千葉大学社会精神保健教育研究センター、⁷青山学院大学、⁸福岡県立精神医療センター太宰府病院

2-OS18-3 ふくしま心のケアセンターの活動と課題：福島災害の被災者に果たした役割

○竹林 唯^{1,2}、前田 正治^{1,2}、落合 美香²、松島 輝明²、米倉 一磨^{2,3}、菅野 寿洋²、黒田 裕子²、
阿蘇 ゆう²、渡部 育子²

¹福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座、²一般社団法人福島県精神保健福祉協会ふくしま心のケアセンター、
³NPO法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会相馬広域こころのケアセンターなごみ

2-OS18-4 プライマリ・ケア医の精神医療への関与意思はどのような因子と関連しているか

○福田 周一¹、小谷 和彦²、小林 聡幸¹、須田 史朗¹

¹自治医科大学精神医学講座、²自治医科大学地域医療学センター地域医療学部門



2-OS18-5

公的医療機関による多職種アウトリーチの役割と機能 グループインタビュー調査の結果から

○小池 純子¹、中西 清晃¹、竹澤 翔²、西 宏隆³、遠田 大輔⁴、岡野 茉莉子¹、島田 達洋⁵、椎名 明大⁶、
稲垣 中⁷、臼田 謙太郎¹、黒田 直明¹、藤井 千代¹、瀬戸 秀文⁸

¹国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、²石川県立こころの病院、

³地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院、⁴富山県立大学、⁵栃木県精神保健福祉センター、

⁶千葉大学社会精神保健教育研究センター、⁷青山学院大学、⁸福岡県立精神医療センター太宰府病院

16:45~17:35

一般演題（口演）19

精神療法

司会：中川 敦夫 聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

2-OS19-1

保険者データを用いた疾患別認知行動療法算定数調査

○向井 馨一郎、細井 幸彦、櫻井 正彦、荻野 俊、林田 和久、松永 寿人

兵庫医科大学精神科神経科学講座

2-OS19-2

力動脱構築精神療法：難治性ボーダーラインパーソナリティ症のために

○齊尾 武郎

SMBC日興証券ウェルネス推進室

2-OS19-3

*6例の治療経過に基づく現代精神科医療におけるトークンエコノミー法の有用性の検討

○原 佳那子¹、萩原 康輔²、篠原 貴大²、新川 甲太²、桐原 史瑛²、光井 瞳²、野田 稔子²、樋口 尚子²、
原田 健一郎²、中川 伸²

¹山口県立こころの医療センター、²山口大学医学部附属病院

2-OS19-4

大規模言語モデルを用いて精神療法の教育ツールを開発する試み

○奥村 和生^{1,2}、嵐 大樹¹、安田 真和¹、大塚 紀朗¹、岡田 俊¹

¹公立大学法人奈良県立医科大学精神医学講座、²公立大学法人奈良県立医科大学疫学・予防医学講座

6月20日（金） J会場（神戸国際会議場 5F 505会議室）

8:30~9:10

一般演題（口演）20

心理教育

司会：岡田 暁宜 名古屋大学総合保健体育科学センター / 大学院医学系研究科精神健康医学

2-OS20-1

児童生徒を対象とした自己肯定感を高める心理教育プログラムの実践と学校現場の課題

○佐藤 則行¹、渡邊 宏周²、安部 郁子^{3,4}、鈴木 勝昭^{3,5}

¹福島学院大学、²ほりこし心身クリニック、³親と子のサポートセンターふくしま、⁴福島大学、

⁵宮城県子ども総合センター

2-OS20-2

統合失調症スペクトラム障害患者に実施したアバターを介した社会参加支援

○冠地 信和¹、吉川 雄一郎²、内海 章³、宮下 敬宏³、谷口 大輔⁴、塚崎 稔⁴、石黒 浩²、熊崎 博一¹

¹長崎大学医学部精神神経科学教室、²大阪大学大学院基礎工学研究科、³株式会社国際電気通信基礎技術研究所、

⁴医療法人清潮会三和中央病院

2-OS20-3

統合失調症者に対する作業療法で用いられる評価指標に関するスコアピングレビュー：作業療法士の視点の分析

○猿爪 優輝^{1,2}、金子 隆生³、前場 洋佑^{2,4}、高橋 香代子^{2,4}

¹北里大学病院リハビリテーション部、²北里大学医療衛生学部、³山形県立中央病院、⁴北里大学大学院医療系研究科

9:30～10:20 一般演題（口演）21
睡眠とその他

司会：神林 崇 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構、茨城県立こころの医療センター

2-OS21-1 統合失調症が疑われ、アセナピンを使用した睡眠相後退型の概日リズム睡眠・覚醒障害の一例

○井戸 博人、白石 直、原田 喜比古、明智 龍男
名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

2-OS21-2 夜間せん妄による幻視に続発して、解離症による幻覚（幻視・幻聴・幻触）が出現した一例

○西原 諒¹、利重 裕子¹、渡辺 孝文¹、山田 敦朗²、明智 龍男¹
¹名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野、
²名古屋市立大学大学院医学研究科こころの発達医学寄附講座

2-OS21-3 人はなぜ不眠症になるのか ー進化精神医学 Kluge からの考察

○佐々木 康吏、河野 正晴
三次病院

2-OS21-4 ＊精神科入院患者の試験外泊が患者の転帰に及ぼす影響

○清水 雄一郎¹、斉藤 善貴¹、村岡 寛之¹、横山 貴之¹、丹野 行博¹、黄田 和¹、西川 大曜^{1,2}、三宅 槇¹、
釵持 幸男¹、上村 幸正¹、加藤 博仁¹、高木 裕昭¹、野口 友佳¹、土田 聖太¹、鈴木 龍太郎^{1,2,4}、
吉村 友希¹、三浦 祥子³、神谷 俊介^{1,4}、廣岡 孝陽¹、澤山 恵波¹、大石 智¹、稲田 健¹
¹北里大学医学部精神科学、²北里大学大学院医療系研究科、³北里大学健康管理センター、
⁴北里大学医学部地域児童精神科医療学

10:45～11:45 一般演題（口演）22
脳器質性・症状性精神障害

司会：館野 周 日本医科大学大学院医学研究科精神・行動医学分野

2-OS22-1 ＊前頭葉乏突起神経膠腫に対する3度目の外科的切除後、頻回にみとめた自殺企図が消失した1例

○松永 彩香、出口 裕彦、大植 堯文、井上 幸紀
大阪公立大学大学院医学研究科神経精神医学

2-OS22-2 ＊神経Sweet病の経過で生じた攻撃性にBrexipiprazoleが奏功した1例

○中山 洋介¹、箕輪 真人¹、手塚 未希¹、福田 周一¹、松菌 構佑²、稲川 優多¹、岡田 剛史¹、須田 史朗¹
¹自治医科大学精神医学講座、²自治医科大学内科学講座神経内科学部門

2-OS22-3 間歇型一酸化炭素中毒による遅発性脳症に対して塩酸ドネペジルを投与し、認知機能と運動機能が回復した一例

○夏山 竜一、大橋 愛子、冠地 信和、熊崎 博一
長崎大学医学部精神神経科学教室

2-OS22-4 縊首による自殺企図後の高次脳機能障害に対して長期的介入を行った1例

○三野 彰理、江口 香織、清水 義雄、小林 建太郎
医療法人万成病院

2-OS22-5 ＊せん妄を疑う症状をきたした遅発性頭部外傷後精神病の一例

○加藤 智信^{1,2}、辻井 崇¹、喜田 恒^{1,2}、望月 大樹³、新国 茂¹、佐久間 啓¹
¹あさかホスピタル、²慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、³医療法人財団厚生協会東京足立病院



11:45~12:45 一般演題（口演）23
自己免疫性脳炎、他

司会：中村 雅之 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野

- 2-OS23-1 当初レビー小体型認知症が疑われた自己免疫性脳炎の一例
○楠 麻耶、越智 紳一郎、織田 侑南、山崎 聖広、細川 里瑛、立花 亜由美、尾崎 智樹、渡部 棕、片田 未来、浅井 雅彦、中城 栄木、伊賀 淳一、上野 修一
愛媛大学医学部附属病院
- 2-OS23-2 Sjögren症候群関連自己免疫脳症に対してステロイドパルスが奏功した一例
○守田 未来、中村 博大、鈴木 伸哉、中山 洋介、岡田 剛史、須田 史朗
自治医科大学精神医学講座
- 2-OS23-3 認知機能低下や幻視、抑うつ気分、不安などの精神症状から脳炎が疑われた一例
○鈴木 耕一郎、松本 唯、中尾 遼平、山田 直輝、梅原 英裕、中瀧 理仁、沼田 周助
徳島大学病院
- 2-OS23-4 レジオネラ症罹患後に海馬硬化症を発症した1例
○池ノ内 篤子^{1,2}、井手 智³、早崎 学²、足立 弘明⁴、吉村 玲児²
¹産業医科大学病院認知症センター、²産業医科大学医学部精神医学、³産業医科大学放射線科学、⁴産業医科大学医学部神経内科学
- 2-OS23-5 認知機能障害で発症しバセドウ病を合併していたため鑑別に苦慮した初老期男性の抗NMDA受容体抗体脳炎の1例
○山崎 健、斉藤 善貴、丹野 行博、釵持 幸男、矢走 円、村岡 寛之、稲田 健
北里大学医学部精神科学教室

13:30~14:30 一般演題（口演）24
アルコール・薬物依存

司会：細田 真司 細田クリニック

- 2-OS24-1 社会的孤立と飲酒実態に関する後方視的研究—依存症外来と神奈川県みらい未病コホートの結合データから
○板橋 登子¹、小林 桜児¹、馬場 真佐美¹、吉田 勝臣^{1,3}、Choy-lye Chei²、渡邊 要²、中村 翔^{2,3}、成松 宏人^{2,3}
¹神奈川県立精神医療センター、²神奈川県立がんセンター臨床研究所、³神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科
- 2-OS24-2 依存症外来での初診5年後予後調査（第4報）—依存対象を止めた期間と影響因に関する報告
○板橋 登子、小林 桜児、青山 久美、西村 康平
神奈川県立精神医療センター
- 2-OS24-3 チアミン投与及びリハビリテーションにより認知機能の改善が得られたウェルニッケ・コルサコフ症候群の一例
○矢走 円、斉藤 善貴、村岡 寛之、釵持 幸男、加藤 博仁、清水 雄一郎、桃原 俊、稲田 健
北里大学医学部精神科学教室
- 2-OS24-4 依存症専門外来におけるゲイ・バイセクシュアル男性患者についての報告
○西村 康平、板橋 登子、小林 桜児
神奈川県立精神医療センター

- 2-OS24-5 オーストラリアにおけるハーム・リダクション：薬物政策の「温度差」を測る比較研究に向けて
○橋本 明¹、川端 美季²、光平 有希³
¹愛知県立大学、²立命館大学、³国際日本文化研究センター

14:30～15:20 一般演題（口演）25
行動嗜癖、他

司会：河邊 憲太郎 愛媛大学大学院医学系研究科児童精神医学講座

- 2-OS25-1 インターネット依存症に対する合宿治療プログラム（SDiC）の有効性
○三原 聡子、北湯口 孝、西村 光太郎、松崎 孝信、樋口 進
独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

- 2-OS25-2 児童精神科通院中の子どものゲーム依存度の変化に関する縦断研究
○館農 勝^{1,2,3}、南波 江太郎^{1,2}、白石 映里^{1,2}、下村 遼太郎^{1,2}、館農 幸恵^{1,2}
¹特定医療法人さっぽろ悠心の郷ときわ病院、²ときわ病院・ときわこども発達センター、
³札幌医科大学神経精神医学講座

- 2-OS25-3 インターネットの長時間利用で、メンタルは悪化するのか？「AI ドクター Mente」を使ったオンライン調査研究
○樺沢 紫苑¹、山崎 清裕²、近澤 徹²
¹樺沢心理学研究所、²株式会社 Medi Face

- 2-OS25-4 病態の再評価によりベンゾジアゼピン系薬剤依存の背景にパニック障害があることが判明し、治療に至った一例
○高尾 彰哉、冠地 信和、熊崎 博一
長崎大学医学部精神神経科教室

15:45～16:45 一般演題（口演）26
疫学・産業精神医学

司会：溝口 義人 佐賀大学医学部精神医学講座

- 2-OS26-1 精神疾患レジストリ登録者の診断横断的クラスタリングとQOLの経時的推移
○佐藤 船斗¹、塘 由惟²、大庭 真梨²、吉村 直記²、竹田 和良²、小居 秀紀²、保谷 岳彦²、松山 裕³、中込 和幸²
¹地方独立行政法人東京都立病院機構、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、
³東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻生物統計学分野

- 2-OS26-2 COVID-19流行中の20か国の医療従事者における2年間のCOVID-19発生率および死亡率と抑うつ症状の関連
○浅岡 紘季¹、渡辺 和広²、宮本 有紀³、Alexandra Restrepo-henao⁴、Ezra Susser^{5,6}、Franco Mascayano^{6,7}、西 大輔¹
¹東京大学医学系研究科精神保健学分野、²北里大学医学部公衆衛生学、³東京大学医学系研究科精神看護学分野、
⁴National School of Public Health Universidad de Antioquia, Colombia、
⁵Columbia University Mailman School of Public Health, US、⁶New York State Psychiatric Institute, US、
⁷Department of Epidemiology, Columbia University Mailman School of Public Health, US



2-OS26-3

精神科入院環境における粗暴行為および非粗暴問題行為の臨床疫学

○綾仁 信貴¹、松岡 照之^{1,2}、大矢 希¹、北岡 力¹、松本 佳大^{1,3}、中島 鑑¹、廣田 律¹、山野 純弘²、町澤 暁⁴、上田 一貴⁴、坂本 優也⁴、吉丸 和宏⁵、小林 広幸⁶、河瀬 希望⁷、門脇 友輝⁸、作間 未織⁹、森本 剛⁹、成本 迅¹

¹京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学、²独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター、³京都府精神保健福祉総合センター、⁴医療法人財団北林厚生会五条山病院、⁵医療法人精華園海辺の杜ホスピタル、⁶医療法人同仁会耳原総合病院、⁷京都第二赤十字病院、⁸社会医療法人恵風会高岡病院、⁹兵庫医科大学社会医学データサイエンス部門

2-OS26-4

医師働き方改革に関連する大学病院勤務医師のストレス状況調査

○木下 裕久、福原 視美、甲斐 美智子、中田 奈々、古林 正和、中道 聖子
長崎大学保健センター

2-OS26-5

一企業におけるメンタル疾患のラインケア研修とそれがもたらす管理職層意識の変化

○松澤 大輔^{1,2}、須藤 千尋³、須藤 優実³

¹株式会社ライデック、²新津田沼メンタルクリニック、³株式会社アラデア

16:45~17:45

一般演題（口演）27

新興感染症（COVID-19など）

司会：鈴木 和人 ほのぼのホスピタル

2-OS27-1

コロナ後遺症に対する認知行動療法：臨床試験と介入研究の統合的レビュー

○高松 直岐^{1,2}、久我 弘典¹

¹国立精神・神経医療研究センター、²東京大学医学部附属病院

2-OS27-2

新型コロナウイルス感染症罹患後精神症状を呈する患者の精神・心理的特徴について

○高橋 晶^{1,2}、太刀川 弘和^{1,2}、根本 清貴³、田口 高也²、新井 哲明³、堀 孝文²

¹筑波大学医学医療系災害・地域精神医学、²茨城県立こころの医療センター、³筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学

2-OS27-3

* COVID-19罹患後症状を有する患者における中脳水道周囲灰白質の容積低下：VBMを用いた検討

○本多 皓一¹、根本 清貴²、高橋 晶^{3,4}、平下 智哉⁵、黒下 彰喜⁶、中橋 優太⁷、中山 顕次郎⁷、田口 高也⁴、堀 孝文⁴、太刀川 弘和^{3,4}、新井 哲明²

¹医療社団法人有朋会栗田病院、²筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学、³筑波大学医学医療系臨床医学域災害・地域精神医学、⁴茨城県立こころの医療センター、⁵筑波大学附属病院、⁶公益財団法人鹿島病院、⁷筑波大学人間総合科学学術院人間総合科学研究群

2-OS27-4

5類感染症移行後に当院クロザピン治療病棟で発生したCOVID-19クラスターでの治療経験

○木田 直也¹、福森 崇之¹、柿本 彰¹、岡 桜子¹、村上 優²

¹国立病院機構琉球病院、²独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター

2-OS27-5

* トリコチロマニア・オニコチロマニアを発症したLong COVIDの一例

○秦 梨花、菅原 裕子、岡本 雄太、林 礼雄、畑中 聡仁、原田 康平、堀 輝

福岡大学病院

6月20日(金) K会場(神戸ポートピアホテル 本館 B1F 偕楽1)

2
目
次

K
会
場

8:30~10:30

シンポジウム 80

摂食障害における脳の可視化と治療法の進展: インターネット認知行動療法の可能性と入院治療

司会: 井野 敬子 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
濱谷 沙世 福井大学子どものこころの発達研究センター

SY80-1

神経性過食症治療の新たな選択肢「ガイド付きインターネット認知行動療法」

○濱谷 沙世

福井大学子どものこころの発達研究センター

SY80-2

神経性過食症の認知行動療法マニュアルの作成と実用について

○松本 一記

鹿児島大学学術研究院医歯学域鹿児島大学病院

SY80-3

安静時脳機能の解析による摂食障害の病態と治療メカニズムの解明

○須藤 佑輔^{1,2}、Ritu Bhusal Chhatkuli¹、高村 恒人³、鎌下 莉緒¹、濱谷 沙世⁴、吉田 斎子¹、
松本 浩史⁵、福土 審⁶、佐藤 康弘⁶、野原 伸展⁷、吉内 一浩⁷、磯部 昌憲⁸、戸瀬 景茉⁸、兒玉 直樹⁹、
高橋 昌稔⁹、吉原 一文¹⁰、高倉 修¹⁰、権藤 元治¹⁰、勝沼 るり³、守口 善也³、清水 栄司¹、関口 敦³、
平野 好幸¹

¹千葉大学子どものこころの発達教育研究センター、²千葉大学医学部附属病院精神神経科、

³国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所行動医学研究部、⁴福井大学子どものこころの発達研究センター、

⁵千葉大学医学部附属病院放射線部、⁶東北大学病院心療内科、⁷東京大学医学部附属病院心療内科、

⁸京都大学大学院医学系研究科精神医学教室、⁹産業医科大学医学部神経内科学講座心療内科、

¹⁰九州大学病院心療内科

SY80-4

福井大学精神医学における摂食症臨床と教育体制

○眞田 陸¹、鈴木 太^{2,3}、幅田 加以瑛¹、牧野 拓也¹、水野 有香¹、小坂 浩隆¹

¹福井大学医学部精神医学、²上林記念病院こども発達センターあおむし、

³福井大学子どものこころの発達研究センター地域こころの支援部門

〈メインコーディネーター〉 濱谷 沙世 福井大学子どものこころの発達研究センター

〈サブコーディネーター〉 松本 一記 鹿児島大学学術研究院医歯学域鹿児島大学病院

10:45~12:45

シンポジウム 81

わたしたちは患者さんの死とどう向き合うか

司会: 鶴身 孝介 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座(精神医学)
射場 亜希子 兵庫県立はりま姫路総合医療センター

SY81-1

患者さんの死と向き合い続ける意味

○阿部 かおり

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

SY81-2

「患者さんの死」を巡って

○奥平 富貴子

東北会病院

SY81-3

患者さん等の死をめぐる考察

○中野 温子

浪速少年院



SY81-4

治療関係のスペクトラム：深い関係性と適切な距離感を求めて

○橋本 望

地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

SY81-5

管理職医師は患者の死とどう向き合うべきか～葛藤を越えて～

○佐久間 寛之

独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター

〔指定発言者〕

齋藤 利和

社会医療法人博友会平岸病院

〈メインコーディネーター〉 射場 亜希子 兵庫県立はりま姫路総合医療センター

〈サブコーディネーター〉 桂木 賢太郎 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座（精神医学）

13:30～15:30

シンポジウム 82

ゲノム医療時代における精神科医の使命と革新的リテラシー

司会：石黒 浩毅

久島 周

山梨大学大学院総合研究部臨床遺伝学講座

名古屋大学医学部附属病院ゲノム医療センター／名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野

SY82-1

遺伝子疾患診療科と精神科とのハイブリッド医療

○石黒 浩毅

山梨大学大学院総合研究部臨床遺伝学講座

SY82-2

ゲノム医療と精神科診療の有機的な連携を目指して

○竹内 千仙

東京慈恵会医科大学附属病院遺伝診療部

SY82-3

ゲノム時代の精神医療：遺伝情報の臨床応用と精神科医の新たな使命

○久島 周^{1,2}

¹名古屋大学医学部附属病院ゲノム医療センター、²名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野

SY82-4

重複障害を抱える難病当事者の統合的支援における精神科医の役割：22q11.2欠失症候群

○笠井 清登

東京大学

〔指定発言者〕

橋本 亮太

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

〈メインコーディネーター〉 石黒 浩毅

〈サブコーディネーター〉 久島 周

山梨大学大学院総合研究部臨床遺伝学講座

名古屋大学医学部附属病院ゲノム医療センター／名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野

15:45～18:05 **映画上映と鼎談**
「心の傷を癒すということ」を語る

司会：田中 究 兵庫県立ひょうごこころの医療センター
宮地 尚子 一橋大学大学院社会学研究科共生社会研究分野

MV-1 **精神科医「安克昌」が残したこと**

○田中 究
兵庫県立ひょうごこころの医療センター

MV-2 **「心の傷を癒すということ」のメッセージを読む**

○宮地 尚子
一橋大学大学院社会学研究科共生社会研究分野

MV-3 **「心の傷を癒すということ」制作について**

○安達 もじり
日本放送協会大阪放送局

〈メインコーディネーター〉 田中 究 兵庫県立ひょうごこころの医療センター
〈サブコーディネーター〉 宮地 尚子 一橋大学大学院社会学研究科共生社会研究分野
上野 千穂 京都市児童福祉センター診療所

6月20日(金) L会場(神戸ポートピアホテル 本館 B1F 偕楽2)

8:30～10:30 **シンポジウム 83**
日本における精神療法：エビデンスかアートか

司会：新村 秀人 大正大学臨床心理学部
北西 憲二 北西クリニック／森田療法研究所

SY83-1 **「通常治療との比較パラダイム」をぶち壊そう！**

○田所 重紀
札幌医科大学医学部神経精神医学講座

SY83-2 **心を揺さぶられるアート（症例）から始まる精神分析のエビデンス創出：エビデンス・コンプレックスの打開**

○加藤 隆弘
北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

SY83-3 **精神療法の本質について-分析心理学の立場からの考察**

○林 公輔
学習院大学文学部心理学科

SY83-4 **森田療法のアートをどのようにエビデンス化するか**

○新村 秀人
大正大学臨床心理学部

〔指定発言者〕

北西 憲二
北西クリニック、森田療法研究所

〈メインコーディネーター〉 新村 秀人 大正大学臨床心理学部



〈サブコーディネーター〉 北西 憲二 北西クリニック／森田療法研究所

10:45～12:45 **シンポジウム 84 (法委員会)**
メンタルヘルスと死刑—WPA2023声明を受けて

司会：岡崎 伸郎 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
中島 直 日本精神神経学会法委員会／医療法人社団新新会多摩あおば病院

SY84-1 **日本精神神経学会のこれまでの活動、およびWPAステートメント**

○中島 直^{1,2}

¹日本精神神経学会法委員会、²医療法人社団新新会多摩あおば病院

SY84-2 **心神喪失が疑われる死刑囚についての調査報告と精神科医へ期待すること**

○加藤 寛崇

日本弁護士連合会人権擁護委員会

SY84-3 **日本の心性と法**

○八木 深

独立行政法人国立病院機構花巻病院

〔指定発言者〕

早苗 麻子

医療法人社団萌クリニック

〈メインコーディネーター〉 八木 深

独立行政法人国立病院機構花巻病院

〈サブコーディネーター〉 中島 直

日本精神神経学会法委員会／医療法人社団新新会多摩あおば病院

13:30～15:30 **シンポジウム 85**
睡眠薬の適正使用・再考 —10年ぶりのガイドライン改定に向けて—

司会：三島 和夫 秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座
稲田 健 北里大学医学部精神科学

SY85-1 **睡眠薬の適正使用ガイドライン発出から10年間の不眠医療の動向と改訂版策定に向けての課題**

○三島 和夫

秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座

SY85-2 **不眠症の薬物療法に関する重要臨床課題とクリニカルクエスト**

○稲田 健

北里大学医学部精神科学

SY85-3 **不眠障害に対する非薬物療法：認知行動療法 Up to Date**

○岡島 義

東京家政大学人文学部心理カウンセリング学科

SY85-4 **不眠症治療の益と害アウトカムの評価**

○渡辺 範雄

蘇生会総合病院

〈メインコーディネーター〉 三島 和夫

秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座

〈サブコーディネーター〉 稲田 健

北里大学医学部精神科学

15:45～17:45 シンポジウム 86

ギャンブル障害に対する実現可能な地域での治療構造～病院と自助団体との連携好事例から～

司会：常岡 俊昭 昭和医科大学附属烏山病院
田中 紀子 公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会

SY86-1 昭和大学附属烏山病院と民間団体の好事例連携について

○田中 紀子
(公社)ギャンブル依存症問題を考える会

SY86-2 愛知における家族会との連携

○古川 優樹¹、松本 知美²、伊藤 智子¹、海戸 健司¹、長江 広人¹
¹一ツ山クリニック、²全国ギャンブル依存症家族の会愛知

SY86-3 岩手県におけるギャンブル障害治療の新たな航海～地域で支える回復の道～

○鈴木 りほ、佐々木 千沙、坂本 恵、瀬川 志穂子、小田島 史恵、内山 幸哉、駒井 理美、
道畑 柚希、千葉 理子、愛木 倫浩、明石 恵美、小川 敏樹、中井 徹、北川 成美、松長根 雅幸、
田嶋 宣行、智田 文徳
未来の風せいわ病院

SY86-4 福岡における、ギャンブル依存症対応における医療機関と家族会との連携の在り方について～ともにある～

○堀川 智史¹、村田 磨美²、堀川 公平¹
¹のぞえ総合心療病院、²全国ギャンブル依存症家族の会福岡

〔指定発言者〕

山田 真理
昭和医科大学附属烏山病院

〔指定発言者〕

松本 知美
全国ギャンブル依存症家族の会愛知

〔指定発言者〕

田村 仁
一般社団法人東北グレイス・ロード

〔指定発言者〕

村田 磨美
全国ギャンブル依存症家族の会福岡

〈メインコーディネーター〉 常岡 俊昭 昭和医科大学附属烏山病院
〈サブコーディネーター〉 田中 紀子 公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会
堀川 智史 医療法人コミュノテ風と虹のぞえ総合心療病院



6月20日(金) M会場(神戸ポートピアホテル 本館 B1F 偕楽3)

8:30~10:30 シンポジウム 87 (精神科医・精神科医療の実態把握委員会)
精神科医療の将来設計:25年後の精神科医療はどうなる！

司会：富田 博秋 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野
辻本 哲士 滋賀県立精神保健福祉センター

SY87-1 2050年の精神科患者数：シミュレーションによる予測

○稲垣 中
青山学院大学

SY87-2 2050年の我が国における児童思春期精神科医療の展望

○熊崎 博一
長崎大学医学部精神神経科学教室

SY87-3 2050年の精神科医療体制：精神科病院の経営問題

○深澤 隆^{1,2}
¹医療法人青仁会青南病院、²公益社団法人日本精神科病院協会

SY87-4 2050年の精神科医療体制：医療政策的観点から

○黒田 直明
国立精神・神経医療研究センター

〈メインコーディネーター〉 稲垣 中 青山学院大学
〈サブコーディネーター〉 富田 博秋 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

10:45~12:45 シンポジウム 88
全国の精神保健福祉センターにおける自殺対策の取り組み

司会：田中 治 青森県立精神保健福祉センター
大塚 耕太郎 岩手医科大学医学部神経精神科学講座

SY88-1 共同研究集会：ボトムアップの科学的かつ公平な自殺対策ネットワークの構築に向けて

○竹島 正^{1,2}、大塚 尚³、勝又 陽太郎⁴、小高 真美⁵、高井 美智子⁶、高橋 邦彦⁷、岡 檀⁸、小出 直史⁹、
椿 広計⁸

¹川崎市総合リハビリテーション推進センター、²大正大学、³東京大学、⁴東京都立大学、⁵武蔵野大学、⁶埼玉医科大学、
⁷東京科学大学、⁸統計数理研究所、⁹大阪大学

SY88-2 自殺対策としての警察官通報措置移送業務～群馬県からの報告その2～

○佐藤 浩司、柿沼 愛華、清水 佳恵、吉澤 莉恵、秋山 昌子、牛込 久美子、草野 建祐
群馬県こころの健康センター

SY88-3 精神保健福祉センターが関わる栃木県の自殺対策について

○島田 達洋
栃木県精神保健福祉センター

SY88-4 鳥取県における自殺対策の取り組み～自殺高率県から自殺死亡率全国最少県への推移～

○原田 豊
鳥取県立精神保健福祉センター

SY88-5 浜松市における10代の自殺未遂者支援について

○二宮 貴至
浜松市精神保健福祉センター

SY88-6 SOSの出し方教育とSOSの受け方研修

○角田 雅彦
石川県こころの健康センター

〈メインコーディネーター〉 田中 治 青森県立精神保健福祉センター
〈サブコーディネーター〉 太田 順一郎 岡山市こころの健康センター

13:30～15:30 シンポジウム 89

精神科リエゾン専門医の多様性－やりがいと葛藤、そして成長－

司会：和田 健 広島市立広島市民病院精神科
齋藤 円 市立ひらかた病院精神科・緩和ケア科

SY89-1 精神科リエゾンの多様性-やりがいと葛藤、そして成長-サイコネフロロジー関連

○大橋 綾子
九州大学病院精神科神経科

SY89-2 サイコカーディオロジーのすゝめ

○成田 尚
北海道大学病院精神科神経科

SY89-3 周産期メンタルヘルス支援に向き合うー札幌圏域における総合病院精神科の取り組みー

○柏木 智則
札幌医科大学医学部神経精神医学講座

SY89-4 サイコエPILEPTロジー：てんかんとのかかわり方

○藤 雄一朗、谷口 豪、大竹 真央、加藤 英生、中田 千尋、梅田 真洋、齋藤 聡志
都立松沢病院内科

SY89-5 サイコオンコロジーのやりがいと魅力

○五十嵐 江美
国立がん研究センター東病院精神腫瘍科

〔指定発言者〕

西村 勝治
東京女子医科大学医学部精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 和田 健 広島市立広島市民病院精神科
〈サブコーディネーター〉 齋藤 円 市立ひらかた病院精神科・緩和ケア科



15:45～17:45 シンポジウム 90

今、薬物使用する若者を如何に守るか？ — 社会教育と啓発への視点 —

司会：野田 哲朗 大阪人間科学大学／東布施野田クリニック
岩井 圭司 大阪人間科学大学／阪本美佐子メンタルクリニック

SY90-1 偏見とスティグマの歴史から教訓を学び、それを政策に生かす薬物教育を

○園田 寿
甲南大学名誉教授

SY90-2 学校における薬物乱用防止教育の現状と課題

○谷家 優子^{1,2,3}
¹大阪人間科学大学、²東布施野田クリニック、³大手前大学

SY90-3 薬物報道は若者を守れるのか—報道機関、そして大学は何ができるか—

○吉田 緑
中央大学大学院法学研究科(刑事法専攻)

SY90-4 ダルクからみた大麻相談者の内実

○倉田 めば
大阪ダルク

SY90-5 学校は対話の場になりうるか：青少年をケアするという視点

○岩井 圭司
大阪人間科学大学

〈メインコーディネーター〉 岩井 圭司 大阪人間科学大学／阪本美佐子メンタルクリニック
〈サブコーディネーター〉 野田 哲朗 大阪人間科学大学／東布施野田クリニック

6月20日(金) N会場(神戸ポートピアホテル 本館 B1F 和楽)

8:30～10:10 ワークショップ 10 (精神療法研修委員会)

映像で学ぶ初診面接——虚しさを訴える軽症うつ病編——

司会：池田 暁史 大正大学／個人開業
中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野

WS10 〈講演者〉 岩木 久満子 顕メンタルクリニック
藤山 直樹 個人開業
大野 裕 大野研究所
吾妻 壮 上智大学

〈メインコーディネーター〉 池田 暁史 大正大学／個人開業
〈サブコーディネーター〉 中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野

10:45～12:25 **ワークショップ 11** (男女共同参画委員会)
医師の働き方改革であなたの現場はどう変わったの? ～男女共同参画の観点から～

司会: 本屋敷 美奈 東京医科大学病院

WS11	〈講演者〉	木下 真也	大阪医科薬科大学病院
		清水 俊宏	埼玉県立精神医療センター
		工藤 由佳	特定医療法人群馬会群馬病院/慶應義塾大学精神・神経科学教室
		植田 紀美子	関西大学人間健康学部
	〈メインコーディネーター〉	高橋 優輔	東京大学医学部附属病院/一般財団法人精神医学研究所附属東京武蔵野病院
	〈サブコーディネーター〉	篠原 清美	セブンメンタルクリニック

13:30～15:10 **ワークショップ 12** (サマースクール実行委員会)
精神医療クイズ大会:世代を超えた学びと交流を深める機会に!

司会: 大矢 希 京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学
入来 晃久 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター

WS12	〈講演者〉	射場 亜希子	兵庫県立はりま姫路総合医療センター
		堀之内 徹	北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室
		北岡 淳子	公益財団法人復光会垂水病院
		宮野 史也	北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室
	〈メインコーディネーター〉	大矢 希	京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学
	〈サブコーディネーター〉	渡辺 雅子	新宿神経クリニック
		中尾 智博	九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野

15:45～16:45 **先達に聴く 3**

司会: 沼田 周助 徳島大学精神科神経科

PM3 **精神療法の脳科学的理解: Up-to-date**

○山脇 成人
広島大学脳・こころ・感性科学研究センター



16:45～17:45 **教育講演 15**

司会: 伊賀 淳一 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座

EL15 **抑うつ状態の分類の変遷と臨床的意義についてー従来分類からICD-11までー**

○大森 哲郎
社会医療法人あいざと会藍里病院





6月20日(金) O会場(神戸ポートピアホテル 本館 B1F 生田)

8:30~10:30 シンポジウム 91 (児童精神科医療研修委員会) 幼少期の体験と精神症状の形成

司会：岡田 俊 奈良県立医科大学精神医学講座
今村 明 長崎大学生命医科学域保健学系作業療法学分野

SY91-1 子どもを取り巻く環境と、その変化

○笠原 麻里
駒木野病院

SY91-2 幼少期のトラウマ／逆境の体験がもたらす長期的影響：発達精神病理学的視点から

○八木 淳子^{1,2}
¹岩手医科大学医学部神経精神科学講座、²岩手医科大学附属病院

SY91-3 小児期における精神病症状の長期予後と治療的介入に迫る：成人期支援までを見据えた臨床的考察

○船渡川 智之
東邦大学医学部医学科精神神経医学講座

SY91-4 小児期の発達特性とパーソナリティ形成

○小野 和哉
聖マリアンナ医科大学神経精神医学教室

〔指定発言者〕

大重 耕三
岡山県精神医療センター

〈メインコーディネーター〉 小野 和哉 聖マリアンナ医科大学神経精神医学教室
〈サブコーディネーター〉 笠原 麻里 駒木野病院

10:45~12:45 Fellowship Award Symposium 4 (国際委員会) Case Vignette: Treating an Adolescent with Sexual Victimization (ケースビネット：性被害を受けた思春期患者の支援)

Chairperson : Naoki Takamatsu National Center of Neurology and Psychiatry

FAS4-1 Case Vignette of 16 year old girl with Childhood Sexual Abuse

○Swapnajeet Sahoo
Department of Psychiatry, PGIMER, Chandigarh, India

FAS4-2 Navigating Trauma: A Comprehensive Approach to Healing from Sexual Victimization in Adolescence

○Najmeh Tavakolian
Department of Psychiatry, School of Medicine, Tehran University of Medical Sciences, Iran

FAS4-3 Current Situation and Rescue process of Child Sexual Victimization in Thailand

○Jutipat Manomaivibul
Department of Psychiatry, Panyanathaphikkhu Chonprathan Medical Center Srinakharinwirot University, Thailand

FAS4-4 From Trauma to Healing: Managing PTSD and Addressing Sexual Violence in Japan

○Haruka Tagusari

Kanagawa Psychiatric Center, Japan

〈メインコーディネーター〉 伊井 俊貴

愛知医科大学病院

〈サブコーディネーター〉 秋山 剛

NTT 東日本関東病院

13:30～15:30 シンポジウム 92

本人が受診しない場合に精神科医は何ができるか：家族療法の考え方を活用したアプローチ

司会：布施 泰子 茨城大学保健管理センター
大森 美湖 東京学芸大学保健管理センター

SY92-1 本人が受診しない場合に精神科医は何ができるか：児童・思春期精神科で家族療法を活用した場合

○森野 百合子

成増厚生病院

SY92-2 青年期において引きこもりや不登校になっている場合の、家族を通してのアプローチ

○布施 泰子

茨城大学

SY92-3 多機能型精神科診療所における家族支援：アウトリーチと家族相談

○後藤 雅博

こころのクリニックウイズ

SY92-4 来院できない身体疾患患者や認知症患者の家族へのアプローチ

○渡辺 俊之^{1,2}

¹渡辺医院、²高崎西口精神療法研修室

〔指定発言者〕

市橋 香代

東京大学附属病院精神神経科

〈メインコーディネーター〉 布施 泰子

茨城大学保健管理センター

〈サブコーディネーター〉 渡辺 俊之

渡辺医院／高崎西口精神療法研修室

15:45～17:45 シンポジウム 93（精神科医療機器委員会）

本邦におけるrTMS療法の到達点と今後の展開

司会：竹林 実 熊本大学大学院生命科学研究部健康長寿代謝制御研究センター精神病態医
高橋 隼 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

SY93-1 本邦初のrTMS療法第Ⅳ相試験

○中村 元昭

昭和医科大学

SY93-2 うつ病診療におけるrTMS療法のまとめと治療戦略

○鬼頭 伸輔

東京慈恵会医科大学精神医学講座

SY93-3 過食嘔吐に挑むrTMS治療：間欠的シータバースト刺激を用いた偽刺激対照二重盲検試験の紹介

○稲川 優多

自治医科大学精神医学講座



SY93-4

難治性疼痛に対するrTMS療法の臨床開発の経験と課題

○細見 晃一^{1,2}

¹大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科学、²大阪大学医学部附属病院疼痛医療センター

〈メインコーディネーター〉 鬼頭 伸輔

東京慈恵会医科大学精神医学講座

〈サブコーディネーター〉 高橋 隼

大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

6月20日(金) P会場(神戸国際展示場 1号館 2F 展示室A)

8:30~10:30

シンポジウム 94

産業医学研修会対象セッション

産業領域における多職種協働を考える～組織を超えた協働を～

司会：辻 洋志

南森町CH労働衛生コンサルタント事務所

清水 宏泰

事務所 L A O

SY94-1

精神科主治医の立場から円滑な復職に向けて可能な支援

○河野 裕太

町田市民病院

SY94-2

精神科デイケアにおける復職支援の有用性

○村岡 和也

横浜市総合保健医療センター

SY94-3

精神科産業医として組織間協働を考える

○増田 祥子^{1,2}

¹日本赤十字社医療センター、²東京地下鉄株式会社

SY94-4

産業保健分野におけるメンタルヘルス対策としての師職・士業の多職種連携

○清水 宏泰

LAO

〈メインコーディネーター〉 増田 祥子

日本赤十字社医療センター

〈サブコーディネーター〉 清水 宏泰

事務所 LAO

10:45~12:45

シンポジウム 95

精神科病院を受療した自殺企図者の自殺再企図防止方略開発のための多施設共同臨床試験 (ACTION-JP 研究)

司会：張 賢徳

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

杉山 直也

公益財団法人復康会沼津中央病院

SY95-1

精神科病院における自殺企図者の自殺再企図防止方略開発のための多施設共同臨床試験・ACTION-JP 研究の背景

○河西 千秋¹、石橋 竜太郎¹、大塚 耕太郎²、杉山 直也³、張 賢徳⁴

¹札幌医科大学神経精神医学講座、²岩手医科大学医学部神経精神科学講座、³公益財団法人復康会沼津中央病院、

⁴国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

SY95-2

自殺未遂者の自殺再企図防止方略に関する先行研究のレビュー

○米本 直裕

富山大学医学部医療統計学講座

SY95-3 精神科病院における自殺予防にかかる診療報酬体系

○藤田 潔
桶狭間病院藤田こころケアセンター

SY95-4 ACTION-JP 研究の概要

○石橋 竜太郎¹、米本 直裕²、張 賢徳³、杉山 直也⁴、館農 勝⁵、藤田 潔⁶、森川 将行⁷、来住 由樹⁸、川原 一洋⁹、河西 千秋¹

¹札幌医科大学医学部神経精神医学講座、²富山大学医学部医学科医療統計学講座、
³国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、⁴公益財団法人復康会沼津中央病院、
⁵特定医療法人さっぽろ悠心の郷とさわ病院、⁶桶狭間病院藤田こころケアセンター、⁷三重県立こころの医療センター、
⁸地方独立行政法人岡山県精神科医療センター、⁹医療法人信愛会玉名病院

〈メインコーディネーター〉 河西 千秋 札幌医科大学

13:30～15:30 シンポジウム 96

産業医学研修会対象セッション

主治医と産業医の間には、深くて暗い河がある～「職場のうつ」診療とグレーゾーン理解～

司会：原田 剛志 医療法人悠志会パークサイドこころの発達クリニック
神尾 陽子 お茶の水女子大学／国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター／神尾陽子クリニック

SY96-1 職場不適応のうつ治療を通して自己理解を深める

○神尾 陽子^{1,2,3}
¹お茶の水女子大学、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、³神尾陽子クリニック

SY96-2 主治医と産業医のグレーゾーン理解の共有～発達障害と定型発達との境界線の岸辺から～

○今村 明^{1,2}
¹長崎大学医歯薬学総合研究科作業療法学分野、²長崎大学子どもの心の医療・教育センター

SY96-3 復職を円滑にすすめるにあたり、産業医ができること、精神科主治医に臨むことは？

○中野 和歌子
ラベンダーメンタルクリニック浜松町

SY96-4 専属・嘱託産業医経験を有する精神科医だから見える職場のうつに潜む発達障害グレーゾーン症例に対する対応

○堀 輝
福岡大学

〔指定発言者〕

本田 秀夫
信州大学医学部

〈メインコーディネーター〉 原田 剛志 医療法人悠志会パークサイドこころの発達クリニック
〈サブコーディネーター〉 神尾 陽子 お茶の水女子大学／国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター／神尾陽子クリニック

15:45～17:45 シンポジウム 97 (男女共同参画委員会)

新時代を迎えた認知症のケアに向けて ―ジェンダー観点からの検討―

司会：奥山 純子 尚絅学院大学総合人間科学系

SY97-1 アルツハイマー型認知症に対する新しい治療薬の導入による男女の差異

○穴水 幸子
独立行政法人国立病院機構栃木医療センター



SY97-2

アルツハイマー病のバイオマーカーの開示と女性介護者への支援のあり方

○和氣 大成^{1,2}

¹聖学院大学心理福祉学部心理福祉学科、²慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

SY97-3

高額医療に対する意思決定と資産との関連について

○江口 洋子¹、佐野 潤子²

¹慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、²東京家政学院大学

SY97-4

ダブルケアを行う更年期女性への健康支援

○寺田 由紀子

帝京大学助産学専攻科

〈メインコーディネーター〉 奥山 純子

尚絅学院大学総合人間科学系

〈サブコーディネーター〉 穴水 幸子

独立行政法人国立病院機構栃木医療センター

6月20日(金) Q会場(神戸国際展示場 1号館 2F 展示室B)

8:30~10:30

シンポジウム 98

改正大麻取締法・麻薬及び向精神薬取締法の意義と課題、ならびに薬物依存症臨床への影響

司会：成瀬 暢也

埼玉県立精神医療センター

松本 俊彦

国立精神・神経医療研究センター

SY98-1

カンナビノイド医薬品 抗てんかん発作薬としての可能性と開発状況

○太組 一郎^{1,2}

¹聖マリアンナ医科大学脳神経外科、²一般社団法人日本臨床カンナビノイド学会

SY98-2

法改正がカンナビノイド使用者と産業へ与えた影響について

○正高 祐志

一般社団法人 Green Zone Japan

SY98-3

科学的な問題点が共有された立法なのか

○園田 寿

甲南大学名誉教授

SY98-4

大麻関連性障害の特徴と法改正による依存症臨床への影響

○野田 哲朗^{1,2}

¹東布施野田クリニック、²大阪人間科学大学

〈メインコーディネーター〉 松本 俊彦

国立精神・神経医療研究センター

〈サブコーディネーター〉 成瀬 暢也

埼玉県立精神医療センター

10:45～12:45 シンポジウム 99

DSM-5TR時代の「ひきこもり」:精神医学における位置付けを多元モデルで再考し新たな支援を創出する

司会：加藤 隆弘 北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室
館農 勝 さっぽろ悠心の郷・ときわ病院

SY99-1 地域における社会的引きこもりの実態と介入

○太刀川 弘和^{1,2}、小川 貴史^{2,6}、白鳥 裕貴⁶、菅原 大地³、相羽 美幸⁴、川上 直秋³、翠川 晴彦⁶、南場 陽一²、斎藤 環⁵、堀 孝文²

¹筑波大学医学医療系災害・地域精神医学、²茨城県立こころの医療センター、³筑波大学人間系、⁴東洋学園大学、⁵つくばダイアログハウス、⁶筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学

SY99-2 ゲームやネットの世界にひきこもる子どもたちを支援するための多職種連携

○館農 勝^{1,2}

¹特定医療法人さっぽろ悠心の郷ときわ病院、²札幌医科大学附属病院神経精神科こどもメンタルクリニック

SY99-3 「病的ひきこもり」と「非病的ひきこもり」を評価可能なHiDE-Sによる早期支援の提案

○加藤 隆弘

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

SY99-4 メタバース技術を活用したひきこもり支援の多元的展開：実証研究から見る治療的意義と実装への課題

○藤田 純一

横浜市立大学附属病院

SY99-5 ひきこもり支援における臨床検査の新展開：症状改善に伴う血液成分モニタリング法の開発

○瀬戸山 大樹

九州大学病院検査部

〔指定発言者〕

Nicola Tajan

京都大学大学院人間・環境学研究科

〈メインコーディネーター〉 加藤 隆弘 北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

〈サブコーディネーター〉 館農 勝 さっぽろ悠心の郷・ときわ病院

13:30～15:30 シンポジウム 100

自己免疫と精神医学～基礎研究から実臨床まで～

司会：神林 崇 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構/茨城県立こころの医療センター
来住 由樹 地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

SY100-1 自己免疫性脳炎長期経過例におけるアンメットニーズ

○田中 恵子^{1,2}、筒井 幸³、阿部 学²

¹福島県立医科大学多発性硬化症治療学講座、²新潟大学脳研究所モデル動物開発分野、³医療法人祐愛会加藤病院

SY100-2 精神科医が扱う2種類の神経自己抗体

○高木 学¹、酒本 真次¹、樋之津 健二¹、河合 弘樹¹、岡久 祐子²、浅田 貴大²、大矢 芳男²、横出 晃能²

¹岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学、²岡山大学病院精神科神経科



SY100-3

自己免疫性脳炎・免疫関連疾患の精神症状に対する精神科的臨床

○千葉 悠平^{1,2}、阿部 紀絵²、服部 早紀²、伊倉 崇浩²、斎藤 知之^{2,6}、勝瀬 大海²、須田 顕²、
藤城 弘樹³、高橋 幸利⁴、西野 精治⁵、浅見 剛²

¹積愛会横浜舞岡病院、²横浜市立大学大学院医学研究科精神医学教室、³名古屋大学大学院医学系研究科精神医学、
⁴静岡てんかん・神経医療センター、⁵スタンフォード大学医学部精神医学、⁶よりどころメンタルクリニック桜木町

SY100-4

精神科臨床と自己免疫性脳炎/脳症

○筒井 幸^{1,2,3}、大森 佑貴⁴、神林 崇^{5,6}、加藤 倫紀¹、加藤 征夫¹、三島 和夫³、田中 恵子⁷

¹特定医療法人祐愛会加藤病院、²平鹿総合病院、³秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座、
⁴東京都健康長寿医療センター、⁵筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構、⁶茨城県立こころの医療センター、
⁷新潟大学脳研究所モデル動物開発分野

〈メインコーディネーター〉 神林 崇 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構／茨城県立こころの医療センター

〈サブコーディネーター〉 来住 由樹 地方独立行政法人岡山県精神科医療センター
高木 学 岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学

15:45～17:45

シンポジウム 101 (ICD-11 委員会)

ICD-11は臨床に耐えるエビデンスはあるのか？－CDDR全体の信頼性と主なカテゴリーの妥当性から－

司会：神庭 重信 飯田病院／日本うつ病センター／九州大学
秋山 剛 NTT 東日本関東病院

SY101-1

臨床現場における利活用に向けたICD-11の信頼性と有用性の検討

○松本 ちひろ
日本医療研究開発機構

SY101-2

1級症状はICD-11において低格化されたのか

○針間 博彦
東京都立松沢病院

SY101-3

心気症や身体醜形症がなぜOCD及び関連症群に含まれたのか？

○中尾 智博
九州大学大学院医学研究院精神病態医学

SY101-4

ICD-11におけるパーソナリティ症のディメンション的分類：革新と妥協

○黒木 俊秀
中村学園大学

SY101-5

PTSD 概念はなぜICD-11とDSM-5では異なるのか？

○金 吉晴
国立精神・神経医療研究センター

〔指定発言者〕

丸田 敏雅
聖徳大学

〈メインコーディネーター〉 丸田 敏雅 聖徳大学
〈サブコーディネーター〉 神庭 重信 飯田病院／日本うつ病センター／九州大学
針間 博彦 地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院

6月20日(金) ポスター会場(神戸国際展示場 1号館 1F 展示室)

13:30~14:20 一般演題 (ポスター) 9 気分障害1

司会：馬場 元 順天堂大学医学部付属順天堂越谷病院

2-P9-1 *甲状腺ホルモンと躁状態・抑うつ状態患者の精神症状との関連

○谷田 沙里奈、箱島 真理子、勝山 修行、佐竹 直子、柳内 秀勝
国立国際医療研究センター国府台病院

2-P9-2 治療抵抗性うつ病におけるrTMSによる顕著性回路の機能的結合変化

○小高 文聰¹、松島 理士²、石井 洵平¹、森 啓輔¹、松澤 友斗¹、北川 久³、伊藤 隆一³、野口 景司³、
千田 真大³、山田 洸大¹、中澤 亜美¹、垂石 七星¹、平川 英滋³、尾尻 博也²、鬼頭 伸輔¹
¹東京慈恵会医科大学精神医学講座、²東京慈恵会医科大学放射線医学講座、³東京慈恵会医科大学附属病院放射線部

2-P9-3 抑うつ状態経験者の受療行動に関するweb調査

○小嶋 悠太¹、金子 宜之¹、中島 英^{1,2}、大塚 雄一郎²、兼板 佳孝²、柏木 香保里³、吉田 政樹³、
西村 勝治⁴、小居 秀紀⁵、栗山 健一⁶、鈴木 正泰¹
¹日本大学医学部精神医学系精神医学分野、²日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野、³スリープウェル株式会社、
⁴東京女子医科大学医学部精神医学講座、
⁵国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究・教育研修部門情報管理・解析部、
⁶国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部

2-P9-4 うつ病治療における回避傾向の変化とその関連因子の検討

○樋口 遼太郎¹、中川 敦夫¹、野上 和香¹、野田 祥子²、片山 奈理子²、古茶 大樹¹
¹聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室、²慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

2-P9-5 うつ病に対する集団認知行動療法の有効性検証：非盲検ランダム化比較試験

○菊地 俊暁¹、田島 美幸¹、小林 由季¹、腰 みさき¹、田村 法子^{1,2}、原 祐子¹、清水 恒三朗¹、
近藤 裕美子¹、秋山 美紀¹、十島 玄汰³、尾崎 達郎³、佐藤 泰憲^{3,4}、藤澤 大介^{1,5}
¹慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、²慶應義塾大学医学部医学教育統轄センター、
³慶應義塾大学病院臨床研究推進センター、⁴慶應義塾大学医学部生物統計学教室、⁵慶應義塾大学病院医療安全管理部

13:30~14:30 一般演題 (ポスター) 10 統合失調症1

司会：木村 大 医療法人学術会木村病院

2-P10-1 *器質性精神障害との鑑別を要した児童期発症の統合失調症の一例

○李 秉叡¹、山澤 涼子²、小林 清香¹、倉持 泉¹、山元 正臣¹、吉益 晴夫¹
¹埼玉医科大学総合医療センター、²医療法人財団厚生協会大泉病院

2-P10-2 *クロザピンに起因すると考えられる低血糖を生じた1症例

○齋藤 暖仁、久永 明人、渋谷 泰弘
ホスピタル坂東

2-P10-3 治療抵抗性統合失調症に対するクロザピン導入においてmECTと並行した減薬が有効であった一例

○奥田 寛人、窪田 恭彦、片山 成仁、輪島 善一郎
成仁病院



2-P10-4

アリピプラゾール持続性注射剤により安全な妊娠出産が可能であった統合失調症の一例

○山下 智子、北川 有希、山内 真喜夫、槻宅 雅史、林 茉衣、正岡 浩、三原 靖葉、伊藤 司、佐藤 皓平、長濱 道治、河野 公範、林田 麻衣子、岡崎 四方、大舘 孝治、和氣 玲、稲垣 正俊
島根大学医学部精神医学講座

2-P10-5

*** 悪性症候群を経験した後にクロザピン治療で著効した統合失調症の一例**

○齋藤 勝則、山田 尚登
社会医療法人杏嶺会上林記念病院

2-P10-6

*** 卵巣癌に対する化学療法によりクロザピンの中断を余儀なくされた統合失調症の1例**

○北川 有希、山下 智子、山内 真喜夫、林 茉衣、正岡 浩、三原 靖葉、伊藤 司、佐藤 皓平、長濱 道治、河野 公範、林田 麻衣子、岡崎 四方、大舘 孝治、和氣 玲、稲垣 正俊
島根大学医学部精神医学講座

14:30~15:30 **一般演題（ポスター）11**
気分障害2

司会：鬼頭 伸輔 東京慈恵会医科大学精神医学講座

2-P11-1

双極性障害の治療経過の中で前頭側頭葉変性症が疑われたが、認知機能低下の経過が比較的緩徐な1例

○濱川 浩、浅田 朋彦
滋賀県立精神医療センター

2-P11-2

AMPA受容体分布に基づく双極性障害と大うつ病性障害の診断アルゴリズムの可用性

○岡村 幸子^{1,2}、木村 裕一³、近添 淳一⁴、波多野 真依¹、中島 和希¹、谷 英明²、内田 裕之²、宮崎 智之¹、有澤 哲¹、平野 羊嗣⁵、小坂 浩隆⁶、高橋 琢哉¹

¹横浜市立大学医学研究科生理学教室、²慶應義塾大学医学部精神神経科、³近畿大学情報学部情報学科、

⁴株式会社アラヤ研究開発部、⁵宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野、

⁶福井大学大学院医学研究院精神科神経科

2-P11-3

双極症の当事者はガイドライン推奨薬をどのように感じているか

○毛塚 大^{1,2}、磯谷 悠子²、鈴木 映二^{1,2}

¹東北医科薬科大学医学部精神科学教室、²東北医科薬科大学病院精神科

2-P11-4

近赤外線スペクトロスコーピを用いたうつ病患者のリワークプログラムの影響

○中村 敏範¹、林 知美²、田中 佐千恵³、公家 龍之介⁴、犬飼 清香⁵、犬飼 希望⁵、古水戸 菜々香²、松平 祐美子²、寺澤 美穂⁶、鷲塚 伸介²

¹信州大学医学部附属病院精神科、²信州大学医学部精神医学教室、³信州大学医学部保健学科基礎作業療法学、

⁴信州大学医学部附属病院リハビリテーション部、⁵信州大学医学部附属病院地域医療連携室、

⁶信州大学医学部附属病院薬剤部

2-P11-5

治療抵抗性うつ病患者と健常者における血漿中年齢調整REST濃度の比較

○石井 洵平、小高 文聰、松澤 友斗、森 啓輔、酒井 祥行、小林 珠代、鬼頭 伸輔、布村 明彦
東京慈恵会医科大学精神医学講座

2-P11-6

うつ病モデルラットにおける睡眠紡錘波活動の特徴と社会的回避行動との関連性

○松田 芳樹¹、小澤 信幸¹、篠崎 たき子¹、関 康子¹、榛葉 俊一^{1,2,3}、楯林 義孝^{1,4}、本多 真¹

¹公益財団法人東京都医学総合研究所睡眠プロジェクト、²静岡済生会総合病院精神科、

³済生会保健・医療・福祉総合研究所、⁴医療法人社団東京愛成会メンタルクリニックおぎくぼ

14:30～15:30 一般演題（ポスター）12
統合失調症2

司会：紀本 創兵 和歌山県立医科大学神経精神医学講座

2-P12-1

精神科病床における統合失調症患者に対する15年間の薬物療法の経時的变化

○平尾 啓真¹、小高 文聰^{1,2}、森 啓輔^{1,2}、小林 珠代¹、沖野 慎治¹、石井 洵平²、鬼頭 伸輔²、樋口 英二郎¹

¹総武病院、²東京慈恵会医科大学精神医学講座

2-P12-2

統合失調症患者における抗コリン薬の減薬とベンゾジアゼピン系薬の処方量との関連

○松澤 友斗、小高 文聰、森 啓輔、石井 洵平、酒井 祥行、小林 珠代、山田 洸大、鬼頭 伸輔
東京慈恵会医科大学附属病院

2-P12-3

当院精神科救急医療センターにおける統合失調症治療薬の選択と継続率に関する実態調査

○稲村 則基、坂口 寛樹、見野 耕一、田中 究、青山 慎介
兵庫県立ひょうごこころの医療センター

2-P12-4

抗精神病薬の種類別にみた統合失調症患者の向精神薬併用状況 - 統合失調症患者5340例の解析

○橋本 直樹¹、堀 輝²、長谷川 尚美³、堀之内 徹¹、阿竹 聖和⁴、市橋 香代⁵、今村 弥生⁶、越智 紳一郎⁷、村岡 寛之⁸、山室 和彦⁹、大井 一高¹⁰、小高 文聰³、坪井 貴嗣⁶、伊賀 淳一⁷、鬼塚 俊明³、古郡 規雄³、橋本 亮太³

¹北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室、²福岡大学医学部精神医学教室、

³国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、⁴NTT西日本健康管理センタ(九州エリア担当)、

⁵東京大学医学部附属病院、⁶杏林大学医学部精神神経医学教室、⁷愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座、

⁸北里大学医学部精神科学教室、⁹公立大学法人奈良県立医科大学精神医学講座、

¹⁰岐阜大学大学院医学系研究科神経統御学講座精神病理学分野

2-P12-5

和歌山県内2病院における遅発性ジスキネジアの予防と早期発見を目的とした実態調査

○桐村 直樹^{1,2}、岡村 和哉²、北野 陽大¹、林 菜摘³、福島 嵩士⁴、木下 恵利加²、奥平 この実¹、東 隼也³、田畑 倫代¹、北畑 雄大³、寺田 翔¹、坂本 友香³、糸川 秀彰³、上野 半兵衛¹、紀本 創兵²

¹野上厚生総合病院、²和歌山県立医科大学神経精神医学教室、³紀南こころの医療センター、⁴ひだか病院

2-P12-6

クロザピン導入時にバルプロ酸併用によるクロザピン中毒が疑われた1例

○荻野 晋太郎¹、亀谷 仁郁²、泉 実公子³、内藤 暢茂⁴、坪内 清貴³、宮岸 良彰²、菊知 充^{1,2}

¹金沢大学附属病院、²金沢大学医薬保健研究域医学系精神行動科学、³金沢大学附属病院薬剤部、

⁴社会福祉法人金沢市民生協会ときわ病院

15:45～16:35 一般演題（ポスター）13
気分障害3

司会：櫻井 準 杏林大学医学部精神神経科学教室

2-P13-1

SOFAS（社会的職業的機能評定尺度）から見た双極性障害治療とクエチアピン徐放錠～104 週間の追跡調査から～

○藤田 雅也

医療法人社団ともえ会船堀ふじたメンタルクリニック

2-P13-2

新規抗うつ薬 zuranolone の第Ⅲ相検証試験二重盲検パートの結果報告

○加藤 正樹¹、中込 和幸²、馬場 崇充³、園山 拓洋³、福寿 宏樹³、清水 亮輔³、

Gomez Juan Carlos⁴、本宮 知子³、井上 猛⁵

¹関西医科大学医学部医学科精神神経科学講座、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、

³塩野義製薬医薬開発本部、⁴Shionogi B.V.、⁵東京医科大学精神医学分野



2-P13-3

新規抗うつ薬 zuranolone の第III相検証試験のオープンラベル長期観察パートの結果報告

○加藤 正樹¹、中込 和幸²、馬場 崇充³、園山 拓洋³、福寿 宏樹³、清水 亮輔³、
Gomez Juan Carlos⁴、本宮 知子³、井上 猛⁵

¹関西医科大学医学部医学科精神神経科学講座、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、
³塩野義製薬医薬開発本部、⁴Shionogi B.V.、⁵東京医科大学精神医学分野

2-P13-4

うつ病患者を対象としたBI 1569912の多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照用量設定第2相試験

○渡邊 衡一郎¹、Elan A Cohen²、Huafang Li³、Christian Otte⁴、Gerard Sanacora⁵、
Rainer-georg Goeldner⁶、Rachel McGovern⁷、Andreas Scholz⁸、Brittney Starling⁷、
Sigurd D. Süssmuth⁸、高野 晶寛⁹、Franco De Crescenzo⁸

¹杏林大学医学部、²CenExel Hassman Research Institute、³Shanghai Mental Health Center、
⁴Charit University Medical Center、⁵Yale University、⁶Boehringer Ingelheim Pharma GmbH & Co. KG、
⁷Boehringer Ingelheim Pharmaceuticals, Inc.、⁸Boehringer Ingelheim International GmbH、
⁹日本ベーリンガーインゲルハイム

2-P13-5

Aripiprazole 持続性注射剤特定使用成績調査-双極Ⅰ型障害の安全性及び有効性の検討

○岩田 伸生¹、塩見 祐貴²、關根 大輔²、前田 健二²、山村 佳代³、山重 裕子³

¹藤田医科大学、²大塚製薬株式会社メディカル・アフェアーズ部、³大塚製薬株式会社ファーマコヴィジランス部

15:45~16:35 一般演題（ポスター）14 統合失調症3

司会：橋本 直樹 北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

2-P14-1

一般成人における幻覚体験と健康状態との関連

○小島 花観¹、石田 一希¹、藤井 亮佑²、功刀 浩¹、池淵 恵美^{1,4}

¹帝京大学医学部精神神経科学教室、²帝京大学精神科、³神経科土田病院、⁴ひだクリニックお台場

2-P14-2

統合失調症の社会機能研究-非罹患第1度親等の社会機能の特徴について-

○嶋田 貴充¹、木原 弘晶²、新田 佑輔²、長澤 達也²、長谷川 充¹、前田 義樹¹、上原 隆²、川崎 康弘²

¹医療法人積仁会岡部病院、²金沢医科大学精神神経科学教室

2-P14-3

ARMSとASDの鑑別診断におけるADOS-2の有用性に関する検討

○笠井 隆央、中村 暖、鈴木 洋久、西尾 崇志、廣瀬 俊輔、藤井 健太郎、関 静香、山内 美里、
二井 はるな、秋庭 愛、本郷 裕一郎、大橋 尊、岩波 明

昭和医科大学附属烏山病院

2-P14-4

機械学習に基づくChild Psychosis-risk Screening Systemの予後予測能の検証

○濱崎 由紀子^{1,2}、阪上 由子³、道越 秀吾⁴、中山 貴夫¹、上羽 智子⁵、六田 泰央⁶、磯部 昌憲⁶、
疋田 貴俊⁷

¹京都女子大学現代社会学部、²医療法人藤樹会滋賀里病院、³滋賀医科大学医学部小児科学講座、
⁴京都女子大学データサイエンス学部、⁵済生会守山市民病院小児科、
⁶京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座精神医学教室、⁷大阪大学蛋白質研究所高次脳機能学研究室

2-P14-5

AMPA受容体標識PET薬剤を用いた、4つの精神疾患患者における脳内AMPA受容体分布の特性解析

○波多野 真依¹、中島 和希¹、谷 英明²、内田 裕之²、有澤 哲¹、津川 幸子¹、永露 毅¹、阿部 弘基¹、
菱本 明豊³、中島 振一郎²、平野 羊嗣⁴、小坂 浩隆⁵、三村 将²、高橋 琢哉¹

¹横浜市立大学医学部生理学、²慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、³神戸大学大学院医学研究科精神医学分野、
⁴宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野、⁵福井大学医学部医学科病態制御医学講座精神医学

16:45～17:45 一般演題（ポスター）15
摂食障害

司会：三上 克央 東海大学医学部総合診療学系精神科学

2-P15-1 * 中年期まで慢性化した摂食障害の1例

○玉置 淳、渡辺 岳海、長瀬 幸弘
医療法人社団東京愛成会高月病院

2-P15-2 神経性やせ症入院患者の食行動異常チェックリストの開発：看護記録の質的分析による事例検討

○小川 晴香、白石 直、明智 龍男
名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

2-P15-3 神経性やせ症の治療介入前後における心理評価尺度の変化

○富岡 有紀子¹、松浦 可苗²、山田 直輝²、中瀧 理仁¹、友竹 正人³、沼田 周助¹
¹徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学分野、²徳島大学病院精神科神経科、
³徳島大学大学院医歯薬学研究部メンタルヘルス支援学分野

2-P15-4 リフィーディング症候群と重度栄養障害の病態再考：低血糖に伴う肝体積減少を中心に

○松永 秀典¹、陸 馨仙²、清水 健太郎³、藤見 聡⁴
¹大阪急性期・総合医療センター精神科、²りくさと健康クリニック、³大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター、
⁴大阪急性期・総合医療センター救急診療科

2-P15-5 摂食症患者への栄養指導継続に関する因子の調査

○堀江 翔^{1,2}、山田 恒³、本山 美久仁³、吉村 知穂³、前野 愛²、荒木 一恵²、倉賀野 隆裕^{2,4}、松永 寿人³
¹兵庫医科大学大学院医学研究科医科学専攻高次神経制御系神経精神医学、²兵庫医科大学病院臨床栄養部、
³兵庫医科大学精神科神経科学教室、⁴兵庫医科大学循環器・透析内科学

2-P15-6 神経性やせ症におけるビタミンB12濃度の横断的研究

○齋藤 裕介、白田 稔則、能登 契介、村長 悠、野村 樹乃香、小幡 俊貴、川合 正平、鈴木 昭仁
山形大学医学部精神医学講座

16:45～17:45 一般演題（ポスター）16
精神科合併症・リエゾン2

司会：岡田 俊 奈良県立医科大学精神医学講座

2-P16-1 * アルコール依存症で向精神薬の過量服薬後に肥大型心筋症が顕在化した一例

○澁谷 健太¹、服部 早紀¹、永露 毅¹、宮内 雅利¹、須田 顕²、野本 宗孝¹、浅見 剛^{1,2}
¹公立大学法人横浜市立大学附属病院精神科、²横浜市立大学附属市民総合医療センター精神医療センター

2-P16-2 * 当院（精神科単科病院）における身体合併症で転院搬送を要した症例の分析

○岩崎 真理、中島 直
医療法人社団新新会多摩あおば病院

2-P16-3 精神科医に使用しやすいDVTリスクスコアの妥当性検証およびPaduaスコアとの比較

○石田 琢人、福田 陽明、今井 敦司、水野 雅文
東京都立病院機構都立松沢病院

2-P16-4 精神科病院でのNST活動の効果～松沢病院での取り組み～

○鈴木 一恵、横田 恵子、森 泰子、鮫島 博美、逆瀬川 純子、相澤 佳子、田中 須美子、秋元 有恒、
江川 直人、植村 順一、稲見 茉莉、水野 雅文
地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院



2-P16-5

*** 大阪市立総合医療センターに搬送された外傷性自殺企図患者の臨床的特徴**

○好木 萌、粥川 朋哉、甲斐 利弘

地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター

2-P16-6

奈良県立医科大学高度救命救急センターへ搬送された自殺未遂者の精神医学的評価

○池原 実伸¹、奥村 和生¹、高田 涼平¹、西 佑記¹、藤本 侑花¹、法山 勇樹¹、小森 崇史^{1,2}、
岡村 和哉^{1,3}、岡田 俊¹

¹公立大学法人奈良県立医科大学精神医学講座、²地方独立行政法人市立東大阪医療センター精神科、

³和歌山県立医科大学神経精神医学教室